

令和 7 年度

# 事業報告書



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社静岡県支部

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 目 次

## I 支部事業・一般会計決算概要

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1 災害救護活動 .....     | 1  |
| 2 赤十字看護師養成事業 ..... | 11 |
| 3 赤十字講習普及活動 .....  | 12 |
| 4 赤十字奉仕団活動 .....   | 17 |
| 5 青少年赤十字活動 .....   | 27 |
| 6 国際活動 .....       | 33 |
| 7 社業振興事業 .....     | 35 |
| 8 評議員会 .....       | 42 |
| 9 一般会計決算概要 .....   | 43 |

## II 医療事業・医療施設特別会計決算概要

|                 |    |
|-----------------|----|
| 1 静岡赤十字病院 ..... | 46 |
| 2 浜松赤十字病院 ..... | 49 |
| 3 伊豆赤十字病院 ..... | 52 |
| 4 裾野赤十字病院 ..... | 55 |

## III 血液事業概要

|                    |    |
|--------------------|----|
| 静岡県赤十字血液センター ..... | 58 |
|--------------------|----|

## IV 資 料

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1 静岡県支部役職員名簿・奉仕者組織役員名簿 ..... | 62 |
| 2 令和7年度主要行事一覧 .....          | 67 |
| 3 日本赤十字社静岡県支部の組織及び沿革 .....   | 69 |
| 4 日本赤十字社静岡県支部施設一覧 .....      | 72 |
| 5 医療施設概況 .....               | 73 |

※報告書の数字は、特に記載のある場合を除き、令和8年3月31日時点の数字

# I 支部事業・一般会計決算概要

静岡県支部は、地区分区、奉仕団並びにボランティア、協賛委員、有功会及び管内各施設などと連携して赤十字活動を行っている。事業活動の財源となる活動資金（社資）は、予算に対して若干減額となったが、資金繰入を増額し、予定した事業は概ね実施することができた。

## 1 災害救護活動

日本赤十字社の災害救護活動は、赤十字の使命に基づいた人道的任務として行う事業である。同時に国が認める救護団体としての活動でもあり「災害対策基本法」や「国民保護法」では、指定公共機関として、「災害救助法」では、国、県または市町の行う業務に対する協力義務が定められている。

静岡県支部では、これらの災害救護活動に備えて、法律に基づいた「静岡県支部防災業務計画」と「静岡県支部国民保護救護計画」を策定している。加えて本社作成の「東海地震、東南海・南海地震、南海トラフ地震、首都直下地震及び日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、各々の対応計画」、静岡県発表の「静岡県第4次地震被害想定」を踏まえ、災害に即時対応できるよう常備救護班を編成し、訓練や研修を行い、救護装備を整備するなど、救護体制の強化・充実を図っている。

また、日常の火災や風水害等による住家の焼失、損壊などの被災者に対して、災害救援品等を交付する活動を継続している。

### （１）災害への対応

#### ア 令和7年台風第15号災害

令和7年9月5日、台風第15号の影響で線状降水帯による非常に激しい雨と竜巻等の突風により、県内各所で人的・物的被害が発生。停電や断水などライフラインへの影響により多くの人々が不自由な生活を強いられる事態となり、死者1人、負傷者90人の人的被害と全壊76棟、半壊319棟、一部損壊1,752棟、床上浸水22棟、床下浸水191棟の住家被害が生じた。

静岡県支部では、災害救援品を牧之原市地区に即日搬送し、以後5回にわたり同地区及び吉田町分区に搬送するとともに、義援金の受付やこころのケア要員による支援活動を実施した。

#### （ア）災害救援品の搬送

| 毛布<br>(枚) | タオル<br>ケット<br>(枚) | 緊急<br>セット<br>(個) | タオル<br>セット<br>(個) | 下着セット<br>(個) |     | 安眠<br>セット<br>(個) | ブルー<br>シート<br>(枚) |
|-----------|-------------------|------------------|-------------------|--------------|-----|------------------|-------------------|
|           |                   |                  |                   | 男性           | 女性  |                  |                   |
| 1,050     | 90                | 794              | 1,910             | 410          | 410 | 50               | 60                |

(イ) 義援金の受付（義援金名：令和7年台風第15号災害静岡県義援金）

|      |                                          |
|------|------------------------------------------|
| 受付期間 | 令和7年9月9日から令和7年12月8日                      |
| 受付方法 | 銀行振込 全国の赤十字施設及び日赤担当窓口                    |
| 義援金額 | 587件 108,747,980円（内静岡県支部受付分：24,776,948円） |

このほかの国内義援金受付状況は、P10に掲載のとおり。

(ウ) こころのケア要員の派遣

| 施設名     | 活動場所 | 日程<br>※活動は平日のみ | 日数<br>(日) | 派遣数<br>(延数) | 取扱人数<br>(人) |
|---------|------|----------------|-----------|-------------|-------------|
| 静岡県支部   | 牧之原市 | 9月22日～9月25日    | 3         | 7           | 17          |
| 静岡赤十字病院 |      | 9月26日～9月30日    | 3         | 7           | 16          |
| 浜松赤十字病院 |      | 10月1日～10月3日    | 3         | 7           | 17          |
| 裾野赤十字病院 |      | 10月6日～10月8日    | 3         | 7           | 16          |
| 伊豆赤十字病院 |      | 10月9日～10月14日   | 3         | 7           | 16          |
| 静岡県支部   |      | 10月15日～10月17日  | 3         | 6           | 17          |
| 計       |      |                | 18        | 41          | 99          |

(エ) 赤十字奉仕団の活動

| 奉仕団名       | 活動場所 | 活動内容     | 日程              | 参加人数 |
|------------|------|----------|-----------------|------|
| 牧之原市赤十字奉仕団 | 牧之原市 | 災害救援品の配付 | 9月13日<br>～9月14日 | 延べ4人 |



▲こころのケア要員によるリラクゼーションの様子



▲牧之原市赤十字奉仕団による災害救援品の配付

## (2) 救護体制の整備

### ア 救護員の登録

大規模災害などが発生した場合に、救護活動を迅速かつ適切に実施するため「静岡県支部救護員登録並びに常備救護班等編成要領」に基づき救護員（災害対策本部要員、救護班要員、血液供給要員）を登録している。

## イ 常備救護班の編成

「日本赤十字社救護規則」及び「静岡県支部救護員登録並びに常備救護班等編成要領」に基づき、4つの赤十字病院に常備救護班 11 班 96 人を編成し、災害発生時の救護活動に備えている。なお、日本赤十字社全体では、常備救護班を 490 班（令和7年3月31日現在）編成している。

### <常備救護班>

| 施設名     | 救護班数<br>(班) | 救護班要員(人) |      |     |     |     |    |    |
|---------|-------------|----------|------|-----|-----|-----|----|----|
|         |             | 医師       | 看護師長 | 看護師 | 助産師 | 薬剤師 | 主事 | 計  |
| 静岡赤十字病院 | 5           | 5        | 7    | 20  | 1   | 5   | 16 | 54 |
| 浜松赤十字病院 | 3           | 3        | 3    | 6   | 1   | 3   | 6  | 22 |
| 伊豆赤十字病院 | 1           | 1        | 1    | 2   | 0   | 0   | 2  | 6  |
| 裾野赤十字病院 | 2           | 2        | 2    | 3   | 0   | 3   | 4  | 14 |
| 計       | 11          | 11       | 13   | 31  | 2   | 11  | 28 | 96 |

## ウ 血液供給要員の配置

「静岡県支部救護員登録並びに常備救護班等編成要領」に基づき災害等が発生した場合に備えて血液センターに血液供給要員を配置している。

### <血液供給要員>

| 施設名          | 血液供給要員(人) |
|--------------|-----------|
| 静岡県赤十字血液センター | 3         |
| // 沼津事業所     | 3         |
| // 浜松事業所     | 1         |
| 計            | 7         |

## エ 赤十字防災ボランティアの登録

災害などが発生した場合に活動する赤十字防災ボランティアは、被災地の復旧・復興に欠くことのできない存在となっている。

赤十字奉仕団員や個人ボランティアなど 128 人を登録しており、そのうちリーダーが 15 人、地区リーダーが 65 人となっている。

## (3) 災害救護訓練及び研修の実施

令和7年11月15日(土)に伊豆赤十字病院を主会場に「令和7年度日本赤十字社静岡県支部・伊豆赤十字病院合同災害救護訓練」を実施した。本訓練は、相模湾を震源とするマグニチュード8クラスの地震によって伊豆赤十字病院が被災地域内医療機関になったことを想定し、医療救護活動を実施する伊豆市との連携をメインテーマとして開催した。さらに、伊豆市赤十字奉仕団や無線赤十字奉仕団、赤十字安全奉仕団、赤十字防災ボランティア等が参加し、支部や病院と連携したボランティア活動を検証した。

また、救護員が災害救護活動の基礎的な知識・技術を習得することを目的に「救護員登録研修」等を実施した。

## ア 災害救護訓練

| 訓練名                            | 開催日            | 主催                 | 会場                               | 参加者数（人）                                                                            |                                           |
|--------------------------------|----------------|--------------------|----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 静岡県総合防災訓練<br>（本部運営訓練）          | 8月27日          | 静岡県                | 静岡県庁                             | 静岡県支部<br>静岡赤十字病院                                                                   | 2<br>5                                    |
| 静岡県・焼津市・藤枝市<br>総合防災訓練          | 10月19日         | 静岡県・焼津市・藤枝市        | 志太医師会館                           | 静岡県支部<br>静岡赤十字病院                                                                   | 2<br>9                                    |
| 日本赤十字社<br>第3ブロック支部<br>合同災害救護訓練 | 10月11日<br>～12日 | 日本赤十字社<br>第3ブロック支部 | 日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、福井県赤十字血液センター | 静岡県支部<br>静岡赤十字病院                                                                   | 3<br>7                                    |
| 日本赤十字社静岡県支部・伊豆赤十字病院合同災害救護訓練    | 11月15日         | 静岡県支部<br>伊豆赤十字病院   | 伊豆赤十字病院<br>生きいきプラザ               | 静岡県支部<br>静岡赤十字病院<br>浜松赤十字病院<br>伊豆赤十字病院<br>裾野赤十字病院<br>静岡県赤十字血液センター<br>ボランティア<br>他団体 | 16<br>12<br>6<br>40<br>6<br>2<br>39<br>27 |
| 地震対策オペレーション2026<br>（大規模図上訓練）   | 1月16日          | 静岡県                | 静岡県庁                             | 静岡県支部                                                                              | 2                                         |
| 原子力防災訓練<br>避難退域時検査場所運営訓練       | 1月31日          | 静岡県                | 浜名湖<br>サービスエリア                   | 静岡県支部<br>浜松赤十字病院                                                                   | 1<br>2                                    |



▲重症エリアでの負傷者の受入訓練



▲災害対策本部運営訓練

〔日本赤十字社静岡県支部・伊豆赤十字病院合同災害救護訓練〕

## イ 災害救護研修

| 研修名                  | 開催日            | 主催    | 会場                            | 参加者数（人）                           |
|----------------------|----------------|-------|-------------------------------|-----------------------------------|
| dERU展開研修             | 5月20日          | 静岡県支部 | 静岡県支部<br>駿府城公園                | 管内職員 34                           |
| 支部災害対策本部<br>設置訓練     | 5月26日          | 静岡県支部 | 静岡県支部                         | 静岡県支部 19                          |
| 救護員登録研修              | 6月13日          | 静岡県支部 | 静岡県支部                         | 管内職員 39                           |
| 支部災害対策本部<br>運営訓練     | 8月27日          | 静岡県支部 | 静岡県支部                         | 静岡県支部 7                           |
| 日赤災害医療<br>コーディネート研修会 | 8月30日<br>～31日  | 本社    | 本社                            | 静岡赤十字病院 1                         |
|                      | 9月26日<br>～27日  |       |                               | 静岡赤十字病院 1<br>浜松赤十字病院 2            |
|                      | 11月1日<br>～2日   |       |                               | 静岡赤十字病院 1                         |
| 第3ブロック<br>赤十字救護班研修会  | 9月13日<br>～14日  | 岐阜県支部 | 日本赤十字社愛<br>知医療センター<br>名古屋第二病院 | 静岡県支部 1<br>静岡赤十字病院 4<br>浜松赤十字病院 5 |
| こころのケア<br>指導者養成研修会   | 10月22日<br>～23日 | 本社    | 本社                            | 静岡県支部 1                           |

※管内職員とは、静岡県支部、県内赤十字病院及び血液センターの職員。



▲dERU 展開研修（屋外）



▲dERU 展開研修（屋内）



▲救護員登録研修



▲救護員登録研修

#### (4) 災害救援品の備蓄と交付

##### ア 災害救援品の備蓄

火災、風水害、地震などに備えて災害救援品を備蓄している。

##### <災害救援品払出・補充状況>

| 品 目              |    | 前年度末   | 払出（内訳：受払） |    |     |       | 補充 | 本年度末   |
|------------------|----|--------|-----------|----|-----|-------|----|--------|
|                  |    |        | 交付        | 戻入 | 破損等 | 計     |    |        |
| 毛布（枚）            |    | 6,522  | 531       | 13 | 495 | 1,013 | 0  | 5,509  |
| 緊急セット（個）         |    | 2,938  | 479       | 4  | 65  | 540   | 0  | 2,398  |
| タオルセット（個）        |    | 15,911 | 763       | 12 | 613 | 1,364 | 0  | 14,547 |
| 下着セット（個）         | 男性 | 2,419  | 260       | 0  | 28  | 288   | 0  | 2,131  |
|                  | 女性 | 2,449  | 281       | 0  | 43  | 324   | 0  | 2,125  |
| 使い捨て<br>下着セット（個） | 男性 | 999    | 0         | 0  | 0   | 0     | 0  | 999    |
|                  | 女性 | 999    | 0         | 0  | 0   | 0     | 0  | 999    |
| タオルケット（枚）        |    | 2,224  | 38        | 0  | 2   | 40    | 0  | 2,184  |
| 安眠セット（個）         |    | 993    | 19        | 0  | 264 | 283   | 0  | 710    |
| プライバシーテント（張）     |    | 60     | 0         | 0  | 0   | 0     | 0  | 60     |

##### <災害救援品保管場所別備蓄状況>

| 品 目              |    | 計      | 内 訳           |               |            |                |            |            |
|------------------|----|--------|---------------|---------------|------------|----------------|------------|------------|
|                  |    |        | 支部倉庫<br>（追手町） | 支部倉庫<br>（国吉田） | 伊豆病院<br>倉庫 | 血液センター<br>沼津倉庫 | 浜松病院<br>倉庫 | 地区区分<br>分置 |
| 毛布（枚）            |    | 5,509  | 156           | 1,550         | 680        | 1,540          | 600        | 983        |
| 緊急セット（個）         |    | 2,398  | 79            | 486           | 228        | 588            | 480        | 537        |
| タオルセット（個）        |    | 14,547 | 1,306         | 4,590         | 1,800      | 2,380          | 2,100      | 2,371      |
| 下着セット（個）         | 男性 | 2,131  | 439           | 0             | 240        | 450            | 150        | 852        |
|                  | 女性 | 2,125  | 370           | 0             | 269        | 450            | 150        | 886        |
| 使い捨て<br>下着セット（個） | 男性 | 999    | 399           | 0             | 100        | 200            | 300        | 0          |
|                  | 女性 | 999    | 399           | 0             | 100        | 200            | 300        | 0          |
| タオルケット（枚）        |    | 2,184  | 68            | 1,080         | 0          | 400            | 400        | 236        |
| 安眠セット（個）         |    | 710    | 0             | 125           | 0          | 240            | 345        | 0          |
| プライバシーテント（張）     |    | 60     | 3             | 47            | 0          | 10             | 0          | 0          |



▲毛布



▲緊急セット

## イ 災害救援品及び災害死亡者弔慰金の交付

県内で発生した火災、風水害などによる被災者に対し地区区分を通じて、災害救援品や災害死亡者弔慰金を交付した。

＜災害救援品及び災害死亡者弔慰金交付状況＞

| 地区区分名    | 被災         |           | 災害救援品     |                  |                   |                  |                   |                  | 災害死亡者<br>弔慰金<br>(円) |
|----------|------------|-----------|-----------|------------------|-------------------|------------------|-------------------|------------------|---------------------|
|          | 世帯<br>(世帯) | 人数<br>(人) | 毛布<br>(枚) | 緊急<br>セット<br>(個) | タオル<br>セット<br>(個) | 下着<br>セット<br>(個) | タオル<br>ケット<br>(枚) | 安眠<br>セット<br>(個) |                     |
| 熱海市      | 1          | 1         | 1         | 1                | 1                 | 1                | 0                 | 0                | 0                   |
| 伊豆の国市    | 6          | 15        | 28        | 9                | 21                | 16               | 0                 | 0                | 10,000              |
| 御殿場市     | 1          | 1         | 1         | 1                | 3                 | 1                | 1                 | 0                | 0                   |
| 富士市      | 4          | 9         | 12        | 5                | 11                | 9                | 0                 | 0                | 20,000              |
| 静岡市清水    | 12         | 27        | 17        | 10               | 26                | 20               | 0                 | 0                | 0                   |
| 静岡市葵・駿河  | 8          | 17        | 13        | 11               | 7                 | 24               | 0                 | 0                | 0                   |
| 焼津市      | 2          | 2         | 2         | 2                | 1                 | 1                | 0                 | 0                | 0                   |
| 藤枝市      | 2          | 4         | 4         | 0                | 4                 | 4                | 0                 | 0                | 10,000              |
| 島田市      | 1          | 1         | 0         | 0                | 2                 | 2                | 0                 | 0                | 0                   |
| 牧之原市     | 396        | 929       | 395       | 389              | 585               | 360              | 0                 | 19               | 0                   |
| 掛川市      | 3          | 9         | 9         | 4                | 7                 | 9                | 0                 | 0                | 0                   |
| 菊川市      | 3          | 5         | 3         | 2                | 0                 | 4                | 0                 | 0                | 10,000              |
| 袋井市      | 3          | 3         | 7         | 1                | 3                 | 0                | 0                 | 0                | 0                   |
| 磐田市      | 2          | 6         | 6         | 2                | 6                 | 6                | 0                 | 0                | 0                   |
| 浜松市中央区中  | 12         | 14        | 9         | 7                | 9                 | 7                | 0                 | 0                | 0                   |
| 浜松市中央区東  | 1          | 1         | 1         | 1                | 1                 | 1                | 0                 | 0                | 0                   |
| 浜松市中央区西  | 2          | 3         | 2         | 2                | 3                 | 3                | 1                 | 0                | 0                   |
| 浜松市中央区南  | 3          | 7         | 2         | 0                | 1                 | 1                | 0                 | 0                | 10,000              |
| 浜松市浜名区浜北 | 1          | 2         | 2         | 1                | 2                 | 2                | 0                 | 0                | 0                   |
| 浜松市浜名区北  | 6          | 9         | 7         | 5                | 7                 | 7                | 0                 | 0                | 10,000              |
| 湖西市      | 3          | 6         | 5         | 3                | 5                 | 5                | 0                 | 0                | 0                   |
| 小山町      | 2          | 5         | 4         | 1                | 4                 | 4                | 4                 | 0                | 0                   |
| 吉田町      | 24         | 61        | 0         | 21               | 53                | 53               | 32                | 0                | 0                   |
| 川根本町     | 1          | 1         | 1         | 1                | 1                 | 1                | 0                 | 0                | 0                   |
| 計        | 499        | 1,138     | 531       | 479              | 763               | 541              | 38                | 19               | 70,000              |

## (5) 救護装備の整備

静岡県支部、病院、血液センター、地区区分に救護用車両、倉庫、機材を整備している。

本年度は、災害救護活動の充実を図るため、病院で使用する仮設救護所用装備（エアートント、医療セット、心電計、衛星電話）を更新したほか、地区区分に救護用倉庫 4 棟を整備した。

<救護用装備一覧>

| 品名       |                     | 支部       | 病院  | 血液センター | 地区区分 | 計     | 整備、更新数      |
|----------|---------------------|----------|-----|--------|------|-------|-------------|
| 救護用車両（台） |                     | 9        | 19  | —      | 66   | 94    |             |
| 救護用倉庫（棟） |                     | 2        | 3   | 1      | 126  | 132   | 地区区分 新設4棟   |
| 機<br>材   | dERUー式（式）           | 1        | —   | —      | —    | 1     |             |
|          | 医療セット（式）            | 2        | 10  | —      | —    | 12    | 病院 更新1式     |
|          | 携帯型医療セット（式）         | 0        | 4   | —      | —    | 4     |             |
|          | 放射線防護服セット（式）        | 7        | 77  | —      | —    | 84    |             |
|          | テント（張）              | 11       | 8   | —      | —    | 19    |             |
|          | エアートtent（張）         | 1        | 10  | —      | —    | 11    |             |
|          | 担架（台）               | 10       | 29  | —      | —    | 39    |             |
|          | 折畳寝台（台）             | 52       | 299 | —      | —    | 351   |             |
|          | ベンチストレッチャー病院待合室用（台） | —        | 70  | —      | —    | 70    |             |
|          | 発電機（台）              | 6        | 16  | 1      | —    | 23    |             |
|          | 投光器（台）              | 2        | 13  | —      | —    | 15    |             |
|          | 浄水装置（台）             | 1        | 1   | —      | —    | 2     |             |
|          | 災害対策本部用ノートパソコン（台）   | 3        | —   | —      | —    | 3     |             |
|          | 情報収集用タブレット端末（台）     | 1        | —   | —      | —    | 1     |             |
|          | モバイル Wi-Fi ルーター（台）  | 1        | —   | —      | —    | 1     |             |
|          | 救護班用ノートパソコン（台）      | —        | 9   | —      | —    | 9     |             |
|          | 簡易トイレ（台）            | 34       | 109 | —      | —    | 143   |             |
|          | 備蓄食料（食）             | 660      | 0   | —      | —    | 660   | 支部 更新 126 食 |
|          | 備蓄飲料水（本/500ml）      | 1,056    | 0   | —      | —    | 1,056 | 支部 更新 192 本 |
|          | 支部災害対策本部代替設備*（式）    | —        | —   | 1      | —    | 1     |             |
|          | 衛星電話（台）             | 3        | 7   | 6      | —    | 16    |             |
|          | 災害時優先電話             | 固定電話（回線） | 2   | 6      | 3    | 11    |             |
|          |                     | 携帯電話（回線） | 3   | 4      | 6    | 13    |             |
|          | 業務用無線機              | 基地局（台）   | 2   | 2      | —    | 4     |             |
|          |                     | 移動局（台）   | 48  | 31     | 24   | 103   |             |
|          | 簡易アンテナセット（式）        | 2        | 5   | —      | —    | 7     |             |

\* 災害対策本部用資機材、業務用無線アンテナ設備、備蓄食料 他



▲エアートtent



▲心電計

## （６）防災啓発事業

防災啓発事業の赤十字防災セミナーは、住民が自ら災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減できるよう、災害発生時に予想される被害や、避難生活などの課題を具体的にイメージしながら、いのちを守るさまざまな知識や技術（全国共通の内容）を学ぶもので、地域に密着した形で実施した。

また、本セミナーを県内全域で広く普及するため指導者養成研修を開催し、新たに 27 人の指導者を養成した。

更に、静岡県支部独自の防災啓発に関するセミナーとして、「炊き出し体験」や「避難生活での自助・共助」等を実施した。

### ＜赤十字防災セミナー実施状況＞

| 名称             | 実施回数（回） | 受講延人数（人） | 指導者延人数（人） |
|----------------|---------|----------|-----------|
| 日本赤十字社の紹介      | 1       | 26       | 2         |
| 災害への備え         | 2       | 212      | 4         |
| 災害エスノグラフィー     | 2       | 57       | 3         |
| 災害図上訓練（DIG）    | 1       | 26       | 2         |
| 家具安全対策ゲーム（KAG） | 10      | 284      | 30        |
| おうちのキケン        | 1       | 99       | 4         |
| ひなんじょたいけん      | 6       | 225      | 22        |
| 計              | 23      | 929      | 67        |

※表中の各項目は、P30 に青少年赤十字加盟校対象数を再掲

### ＜その他の防災啓発事業の実施状況＞

| 名称           | 実施回数（回） | 受講延人数（人） | 指導者等延人数（人） |
|--------------|---------|----------|------------|
| 講話           | 23      | 1,835    | 47         |
| 炊き出し体験       | 36      | 1,060    | 62         |
| 炊き出し出張講座     | 10      | 274      | 25         |
| 避難生活での自助・共助  | 42      | 1,582    | 103        |
| 災害時高齢者生活支援講習 | 14      | 259      | 22         |
| 災害時乳幼児生活支援講習 | 11      | 151      | 26         |
| 計            | 136     | 5,161    | 285        |

※表中の「講話」「炊き出し体験」は、P30 に青少年赤十字加盟校対象数を再掲

※表中の「炊き出し出張講座」は、P21 に赤十字奉仕団の活動として再掲

※表中の「避難生活での自助・共助」は、P12 の救急法講習の一つとして再掲

※表中の「災害時高齢者生活支援講習」は、P13 の健康生活支援講習の一つとして再掲

※表中の「災害時乳幼児生活支援講習」は、P14 の幼児安全法講習の一つとして再掲

<指導者養成講習 実施状況>

| 名称               | 実施回数（回） | 受講人数（人） | 指導者延人数（人） |
|------------------|---------|---------|-----------|
| 赤十字防災教育事業指導者養成研修 | 2       | 28      | 60        |



▲ひなんじょたいけん



▲炊き出し出張講座

## （７）国内義援金の受付

国内で災害が発生したときに本社や関係機関との協議に基づいて国内義援金を募集した。  
なお、静岡県支部が受付けた義援金は、下表のとおりである。

| 義援金名                      | 金額（円）      |             |
|---------------------------|------------|-------------|
|                           | 本年度分       | 累計          |
| 令和6年能登半島地震災害義援金           | 5,825,038  | 227,170,432 |
| 令和6年9月能登半島大雨災害義援金         | 1,428,291  | 11,039,832  |
| 令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金        | 1,072,895  | 1,658,519   |
| 令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金  | 82,609     | 同左          |
| 令和7年台風8号に伴う災害義援金          | 37,675     | 同左          |
| 令和7年8月6日から的大雨災害義援金        | 94,496     | 同左          |
| 令和7年台風第12号災害義援金           | 45,095     | 同左          |
| 令和7年台風第15号災害静岡県義援金        | 24,776,948 | 同左          |
| 令和7年台風第22号及び第23号災害義援金     | 81,786     | 同左          |
| 令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金 | 1,376,833  | 同左          |
| 令和7年青森県東方沖地震義援金           | 144,594    | 同左          |
| 計                         | 34,966,260 | 266,508,819 |

## 2 赤十字看護師養成事業

日本赤十字社の看護師は、保健医療をはじめとして災害救護や国際救援など多岐にわたり活動する必要がある。

静岡県支部では、これらの業務に対応できる看護に関する幅広い能力を持った赤十字看護師を養成するため、愛知県豊田市にある日本赤十字豊田看護大学の学生を対象とした奨学金制度を設けている。

本年度は 19 人の奨学生が在学しており、うち 4 年生（第 19 期生）3 人が静岡赤十字病院に入職した。

また、県内の赤十字病院に対して、本社及び看護協会等が実施する看護師研修への参加費用や看護師確保のための募集広告費用を助成した。

＜日本赤十字豊田看護大学奨学生＞ (人)

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 計  |
|-----|-----|-----|-----|----|
| 5   | 4   | 6   | 4   | 19 |



▲日本赤十字豊田看護大学での演習

### 3 赤十字講習普及活動

健康で安全な生活を送るための知識と技術を身につけることを目的とした4つの赤十字講習（「赤十字救急法」「赤十字水上安全法」「赤十字健康生活支援」「赤十字幼児安全法」）を普及するため、多くのボランティア指導員と各地区分区の協力を得ながら県内各地で講習を開催した。

#### （１）赤十字救急法講習

赤十字救急法講習は「病気やけが、災害から自分自身を守るとともに、傷病者を正しく救助し、医師または救急隊などに引き継ぐまでのBLS\*と応急手当を学ぶ講習」である。

各地区分区の協力を得て、年間を通して県民、赤十字奉仕団、自主防災組織などを対象に講習を普及した。

\*BLS（Basic Life Support：一次救命処置）

心肺蘇生（胸骨圧迫と人工呼吸）やAED（Automated External Defibrillator：自動体外式除細動器）を用いた電気ショックなど、心臓や呼吸が停止した傷病者を救命するために行う緊急処置

#### ＜赤十字救急法講習実施状況＞

| 講習区分        | 計画回数<br>(回) | 実施回数<br>(回) | 受講者数<br>(人) | 開催地区分区実数 | 指導員延人数<br>(人) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|---------------|
| 基礎講習        | 70          | 70          | 1,408       | 14市      | 206           |
| 救急員養成講習     | 40          | 33          | 720         | 8市       | 181           |
| 短期講習        | 200         | 201         | 6,002       | 20市 6町   | 445           |
| BLS入門講座     | 50          | 47          | 2,233       | 13市 1町   | 132           |
| 避難生活での自助・共助 | 85          | 42          | 1,582       | 11市 2町   | 103           |
| 計           | 445         | 393         | 11,945      | (21市 8町) | 1,067         |

※「避難生活での自助・共助」は、P9の防災啓発事業の再掲



▲包帯法（救急員養成講習）



▲心肺蘇生（短期講習）

## (2) 赤十字水上安全法講習

赤十字水上安全法講習は「水を活用して健康の増進を図り、また水の事故から生命を守るために、泳ぎの基本や溺れた人を正しく救助する方法などの知識と技術を学ぶ講習」である。

小中学生を対象に「着衣泳」「水に入らないレスキュー」を実施し、落水時の対応、プールや河川等における自己保全、ペットボトルなど身近なものを使った救助の方法を普及した。

また、本年度は初めて移行型水上安全法指導員Ⅱ養成講習を開催し、新たに 5 人の指導員が誕生した。

### ＜赤十字水上安全法講習実施状況＞

| 講習区分        | 計画回数<br>(回) | 実施回数<br>(回) | 受講者数<br>(人) | 開催地区区分実数 | 指導員延人数<br>(人) |
|-------------|-------------|-------------|-------------|----------|---------------|
| 指導員Ⅱ養成講習    | 0           | 1           | 5           | 1市       | 3             |
| 救助員Ⅰ養成講習    | 7           | 3           | 38          | 2市       | 81            |
| 救助員Ⅱ養成講習    | 1           | 1           | 19          | 1市       | 37            |
| 短期講習        | 15          | 16          | 437         | 6市 1町    | 38            |
| 着衣泳         | 90          | 57          | 1,828       | 16市 3町   | 306           |
| 水に入らないレスキュー |             | 11          | 385         | 5市       | 75            |
| 計           | 113         | 89          | 2,712       | (20市 3町) | 540           |



▲溺者の救助（救助員Ⅱ養成講習）



▲着衣での浮き方（着衣泳）

## (3) 赤十字健康生活支援講習

赤十字健康生活支援講習は「自分らしく人生を楽しむために健康管理を行い、健康寿命を延ばすための工夫や、地域共生社会の実現に向けて、支援活動の知識や技術を学ぶ講習」である。

地域の中で支え合うために、各地域での講習や地域赤十字奉仕団の研修の中で、リラクゼーションなど高齢者の支援のしかたを普及した。

### ＜赤十字健康生活支援講習実施状況＞

| 講習区分             | 計画回数<br>(回) | 実施回数<br>(回) | 受講者数<br>(人) | 開催地区区分実数 | 指導員延人数<br>(人) |
|------------------|-------------|-------------|-------------|----------|---------------|
| 支援員養成講習          | 13          | 7           | 49          | 3市       | 38            |
| 短期講習             | 40          | 21          | 399         | 10市 2町   | 27            |
| 災害時高齢者<br>生活支援講習 | 20          | 14          | 259         | 5市 2町    | 22            |
| 計                | 73          | 42          | 707         | (11市 3町) | 87            |



▲車椅子からの移乗（支援員養成講習）



▲リラクゼーション（短期講習）

#### （４）赤十字幼児安全法講習

赤十字幼児安全法講習は「子どものいのちを守り社会全体で大切に育てるために、子どもに起こりやすい事故の予防と手当の方法、家庭内での看病や災害時における支援など、生活の中で役立つ知識と技術を学ぶ講習」である。

保育に携わる者、子育てを支援する者などを中心に普及に努めたほか、国の認定する子育て支援員研修事業の一課程としての講習や、災害時に特に配慮が必要な乳幼児とその保護者への対応を学ぶ「災害時乳幼児生活支援講習」を実施した。

なお、本年度は、幼児安全法指導員養成講習を開催し、新たに 16 人の指導員が誕生した。

##### ＜赤十字幼児安全法講習実施状況＞

| 講習区分         | 計画回数<br>(回) | 実施回数<br>(回) | 受講者数<br>(人) | 開催地区区分実数   | 指導員延人数<br>(人) |
|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|---------------|
| 指導員養成        | 1           | 1           | 19          | 1 市        | 27            |
| 支援員養成講習      | 12          | 8           | 70          | 4 市        | 43            |
| 短期講習         | 65          | 58          | 958         | 10 市 2 町   | 110           |
| 災害時乳幼児生活支援講習 |             | 11          | 151         | 6 市        | 26            |
| 計            | 78          | 78          | 1,198       | (11 市 2 町) | 206           |



▲心肺蘇生（支援員養成講習）



▲災害時乳幼児生活支援講習（短期講習）

## (5) 赤十字救急法競技会

日頃から培った救急法の知識と技術を披露することで、その技術の向上と日常生活における安全意識を高めること、参加者相互の交流とボランティアの連携強化を目的として、13 回目となる赤十字救急法競技会をグランシップで開催した。

今年度よりマスターズの部とプラカード賞を創設し、多くの参加者の活躍の機会の創出につながった。また、交流コーナーを復活し、12 団体の参加となった。

◆開催日 10 月 4 日（土）10:00～15:00

◆会 場 グランシップ（静岡市駿河区東静岡 2-3-1）

◆参加者 合計 400 人

| 参加者    |                   | 内訳（参加チーム数等）                                   |       |        |
|--------|-------------------|-----------------------------------------------|-------|--------|
| 選手     | 180 人<br>(60 チーム) | 三角巾リレー                                        | マスターズ | 9 チーム  |
|        |                   |                                               | 一般    | 21 チーム |
|        |                   |                                               | 高校生以下 | 30 チーム |
|        |                   | 救命応急手当                                        | 一般    | 13 チーム |
|        |                   |                                               | 高校生以下 | 29 チーム |
|        |                   | 心肺蘇生                                          | 一般    | 14 チーム |
|        |                   |                                               | 高校生以下 | 29 チーム |
| その他参加者 | 75 人              | 観覧・応援 58 人、来賓 13 人、名誉指導員 4 人                  |       |        |
| スタッフ   | 145 人             | ボランティア 82 人、実行委員 9 人<br>交流コーナー 36 人、支部職員 18 人 |       |        |

◆競技結果（上位入賞）

### ○総合成績

|         | 優 勝                           | 準優勝                          | 第 3 位                          |
|---------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 一般の部    | 浜松医療学院 Ladies<br>(専門学校浜松医療学院) | 浜松医療学院 救護部 B<br>(専門学校浜松医療学院) | さくやちゃん<br>(富士宮防災ボランティアの会)      |
| 高校生以下の部 | 浜松修学舎 A<br>(浜松修学舎高等学校)        | 吉原高校 B<br>(静岡県立吉原高等学校)       | 三島南高校 JRC 部 B<br>(静岡県立三島南高等学校) |

### ○種目別成績 マスターズの部

| 種 目        | 優 勝                   | 準優勝                    | 第 3 位                     |
|------------|-----------------------|------------------------|---------------------------|
| 三角巾<br>リレー | 天竜 A<br>(浜松市天竜赤十字奉仕団) | 藤の花 B<br>(藤枝市藤枝赤十字奉仕団) | しおさい竜洋<br>(磐田市赤十字奉仕団竜洋分団) |

### ○種目別成績 一般の部

| 種 目        | 優 勝                          | 準優勝                           | 第 3 位                         |
|------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 三角巾<br>リレー | 浜松医療学院 救護部 B<br>(専門学校浜松医療学院) | 浜松医療学院 柔整科<br>(専門学校浜松医療学院)    | 浜松医療学院 Ladies<br>(専門学校浜松医療学院) |
| 救命応急<br>手当 | さくやちゃん<br>(富士宮防災ボランティアの会)    | 浜松医療学院 Ladies<br>(専門学校浜松医療学院) | 浜松医療学院 救護部 B<br>(専門学校浜松医療学院)  |
| 心肺蘇生       | 浜松医療学院 救護部 A<br>(専門学校浜松医療学院) | 浜松医療学院 Ladies<br>(専門学校浜松医療学院) | 浜松医療学院 柔整科<br>(専門学校浜松医療学院)    |

○種目別成績 高校生以下の部

| 種 目        | 優 勝                                                   | 準優勝                    | 第 3 位                          |
|------------|-------------------------------------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 三角巾<br>リレー | 優勝 浜松修学舎 A (浜松修学舎高等学校)<br>三島南高校 JRC 部 A (静岡県立三島南高等学校) |                        | ボランティア<br>(静岡県立掛川東高等学校)        |
| 救命応急<br>手当 | でんもー<br>(静岡県立田方農業高等学校)                                | ボラボラ<br>(静岡県立掛川東高等学校)  | 吉原高校 B<br>(静岡県立吉原高等学校)         |
| 心肺蘇生       | 吉原高校 H<br>(静岡県立吉原高等学校)                                | 浜松修学舎 A<br>(浜松修学舎高等学校) | 三島南高校 JRC 部 F<br>(静岡県立三島南高等学校) |

○有功会会長賞 チーム 1 年 (静岡県立藤枝東高等学校 JRC 部)

○プラカード賞 福田しらす (磐田市赤十字奉仕団福田分団)

◆親睦プログラム

救命応急手当競技 (模範演技)、赤十字〇×クイズ



▲三角巾リレー競技



▲心肺蘇生競技



▲救命応急手当競技



▲親睦コーナー (静岡県赤十字水上安全奉仕団)



▲プラカード賞



▲総合優勝 (高校生以下の部) 浜松修学舎 A

## 4 赤十字奉仕団活動

赤十字奉仕団は、赤十字の理念である人道のもと、人道的諸活動を実践しようとする人々によって結成されたボランティア組織である。

地域ごとに結成された「地域赤十字奉仕団」、青年や学生の若い世代が中心の「青年赤十字奉仕団」、専門技術を活かして特定の奉仕活動を行う人々で組織された「特殊赤十字奉仕団」が、それぞれの持ち味を活かした奉仕活動を展開している。

静岡県支部は、奉仕団の育成強化を図るため活動に必要な経費を交付するなど、各団の運営を積極的に支援した。

### (1) 地域赤十字奉仕団への支援

社会福祉や地域に根ざした課題に取り組む地域赤十字奉仕団の活動をさらに推進するために、令和 6 年度に「静岡県地域赤十字奉仕団の活動に対する助成金交付要綱」を策定した。本年度は 9 団から申請があり、助成金の交付を受けた奉仕団は、積極的に事業に取り組んだ。

#### < 静岡県地域赤十字奉仕団の活動に対する助成金交付要綱の概要 >

○助成対象活動：

- ①青少年赤十字を支援する活動
- ②地域包括ケアに寄与する活動
- ③支部・血液センター・赤十字病院を支援する活動
- ④災害に備える活動
- ⑤その他支部長が必要と認める活動

○助成金額：助成対象活動 1 項目につき 10 万円以内で、合計 30 万円を上限とする。

#### < 助成状況 >

| 奉仕団名      | 対象活動                | 助成額（円）  | 活動内容                                                         |
|-----------|---------------------|---------|--------------------------------------------------------------|
| 伊豆市       | ①地域包括ケア<br>②災害に備える  | 100,138 | ①赤十字病院の植栽支援<br>②地域へ出向き炊き出し訓練                                 |
| 伊豆の国市     | ①災害に備える<br>②支部長が認める | 52,827  | ①防災訓練時に地域の方と炊き出し<br>②炊き出しレシピコンテスト応募へのメニュー開発                  |
| 藤枝市<br>岡部 | 災害に備える              | 65,793  | ・防災訓練時に簡易トイレの組み立て<br>法や炊き出しの実施                               |
| 袋井市       | 災害に備える              | 42,309  | ・放課後児童クラブの児童へ防災<br>講座を実施                                     |
| 磐田市       | ①災害に備える<br>②支部長が認める | 74,586  | ①地域住民を対象に炊き出しや応急<br>手当の勉強会を実施<br>②炊き出しレシピコンテスト応募<br>へのメニュー開発 |

| 奉仕団名       | 対象活動                           | 助成額（円）  | 活動内容                                                                           |
|------------|--------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 浜松市<br>三ヶ日 | ①地域包括ケア<br>②災害に備える<br>③支部長が認める | 200,000 | ①地域の高齢者を対象に参加型の行事を開催<br>②JRC 加盟校の小学生とその親を対象に防災活動を実施<br>③炊き出しレシピコンテスト応募へのメニュー開発 |
| 浜松市<br>浜北  | ①JRC 支援<br>②地域包括ケア<br>③支部等支援   | 169,791 | ①JRC 加盟校の児童や地域住民と植栽活動<br>②シニアクラブ等で炊き出し<br>③支部等のイベントで体験コーナーを実施                  |
| 浜松市<br>天竜  | 地域包括ケア                         | 49,120  | ・年間を通じて地元イベントで日赤をPR                                                            |
| 浜松市<br>佐久間 | ①地域包括ケア<br>②災害に備える             | 169,087 | ①買い物困難者への食事提供支援<br>②中学生を対象に防災教室を実施                                             |
| 合 計        |                                | 923,651 |                                                                                |



▲買い物困難者への食事支援  
(浜松市佐久間)



▲児童対象の防災講座（袋井市）

## （２）地域赤十字奉仕団基礎研修会の実施

赤十字奉仕団員としての知識と技術の基礎を身につけるための研修会である。包装食袋を使用した炊き出し等の研修項目を各奉仕団が選択し、令和６年度からの３ヵ年計画とし、全奉仕団で実施している。本年度は、１３団で開催した。

### ＜基礎研修会の実施状況＞

| 開催日    | 奉仕団名     | 参加者数（人） | 会場          |
|--------|----------|---------|-------------|
| ８月２１日  | 静岡市葵・駿河区 | ２５      | 日本赤十字社静岡県支部 |
| ９月１６日  | 伊豆市      | ３１      | 生きいきプラザ     |
| ９月２５日  | 川根本町     | ２１      | 川根本町文化会館    |
| １０月２３日 | 浜松市佐久間   | １５      | 佐久間支所       |

| 開催日    | 奉仕団名  | 参加者数（人） | 会場                |
|--------|-------|---------|-------------------|
| 10月31日 | 浜松市雄踏 | 19      | 雄踏文化センター          |
| 11月7日  | 湖西市   | 12      | 湖西市健康福祉センター       |
| 11月12日 | 長泉町   | 15      | 長泉町南部地区センター       |
| 11月17日 | 御殿場市  | 19      | 御殿場市民交流センター ふじざくら |
| 11月18日 | 島田市   | 32      | 金谷生きがいセンター夢づくり会館  |
| 11月26日 | 沼津市   | 33      | 片浜地区センター          |
| 12月9日  | 小山町   | 15      | 小山町健康福祉会館         |
| 1月14日  | 熱海市   | 15      | 熱海市中央公民館          |
| 1月25日  | 藤枝市岡部 | 37      | 藤枝市福祉センター きすみれ    |
| 計（13団） |       | 289     |                   |



▲協力して炊き出し  
（伊豆市）



▲リラクゼーションを学ぶ  
（長泉町）



▲家の中の危険個所を共有  
（御殿場市）

### （３）災害時に役立つ！包装食袋炊き出しレシピコンテストの開催

地域赤十字奉仕団が、主要な活動として取り組んでいる「包装食袋を使用した炊き出し」の日頃の成果を発揮する機会を創出するため、また、レシピ開発を通じて活動の活性化を図るために、初めて炊き出しレシピコンテストを開催した。本コンテストに応募されたレシピは、レシピ集として取りまとめることで、県民の自助・共助に貢献できるようにする。

- ◆開催日時 2月13日（金）
- ◆会場 調理：日本赤十字社静岡県支部 審査：静岡県産業経済会館
- ◆参加団 10団 （伊豆の国市、藤枝市岡部、島田市、御前崎市、菊川市、磐田市、  
浜松市三ヶ日、浜松市佐久間、函南町、吉田町）
- ◆応募数 28レシピ



▲審査に向けて真剣に調理に取り組む



▲自信作が完成！



▲審査員による質問



▲最優秀賞を受賞した島田市奉仕団



▲コンテストに参加した皆さん

#### ◆審査結果

| 表彰区分   | 奉仕団名   | メニュー名          |
|--------|--------|----------------|
| 最優秀賞   | 島田市    | イカ飯            |
| 優秀賞    | 磐田市    | 煎り豆ごはん         |
|        | 浜松市三ヶ日 | みかんジュースの炊き込みご飯 |
|        | 浜松市佐久間 | 高野豆腐の卵とじ       |
| 入賞     | 伊豆の国市  | ひじきとツナの炊き込みご飯  |
|        | 藤枝市岡部  | 焼き鳥ご飯          |
|        | 島田市    | きなこおはぎ         |
|        | 御前崎市   | 蒸しパン           |
|        | 菊川市    | 菊川 深蒸し茶がゆ      |
|        | 函南町    | さつま芋と餅のきなこまぶし  |
|        | 吉田町    | 熱々そば           |
| 審査員特別賞 | 伊豆の国市  | 紅白なます          |

#### (4) 炊き出し出張講座の実施

自治会・町内会からの災害時の炊き出し活動に関する要望に応えるため、地域に出向き、地域赤十字奉仕団等が包装食袋を使用した炊き出しを実演・伝達する講座である。

本年度は、5市で10回実施した。

| 実施日    | 市町名 | 参加者数<br>(人) | 講師数<br>(人) |
|--------|-----|-------------|------------|
| 10月5日  | 三島市 | 11          | 3          |
| 10月12日 | 沼津市 | 14          | 3          |
| 10月25日 | 沼津市 | 22          | 3          |
| 10月26日 | 清水区 | 16          | 2          |
| 11月16日 | 沼津市 | 30          | 4          |
| 11月30日 | 三島市 | 45          | 2          |
| 11月30日 | 三島市 | 60          | 1          |
| 12月7日  | 伊豆市 | 30          | 2          |
| 12月7日  | 袋井市 | 21          | 2          |
| 1月18日  | 伊豆市 | 25          | 3          |
| 合 計    |     | 274         | 25         |

※P9 の防災啓発事業の「炊き出し出張講座」  
の再掲



▲静岡市清水区の様子



▲沼津市の様子

## (5) 赤十字奉仕団ボランティア・リーダーシップ研修会の開催

赤十字奉仕団のリーダーとして必要な知識・技術の習得と奉仕活動の充実及び向上を図ることを目的として、新任委員長や将来のリーダーや中核的役割を担う奉仕団員を対象に同内容の研修会を実施した。

| 開催日   | 会場                  | 参加者数 (人) |
|-------|---------------------|----------|
| 7月3日  | コンベンション沼津 (沼津市)     | 32       |
| 7月11日 | 袋井南コミュニティセンター (袋井市) | 32       |



▲赤十字の使命と活動について学ぶ



▲グループワークで互いの考えを共有

## （６）奉仕団の組織と活動

### ア 赤十字奉仕団静岡県支部委員会

赤十字奉仕団静岡県支部委員会は、地域赤十字奉仕団委員会、青年赤十字奉仕団及び各特殊赤十字奉仕団の委員長、副委員長等で構成されており、静岡県支部管内の各赤十字奉仕団の運営に関し情報交換を行うとともに、活動の推進に向けた協議及び連絡調整を行っている。

#### ◆赤十字奉仕団静岡県支部委員会役員

委員長 小木 絹代（静岡県地域赤十字奉仕団委員会委員長）  
 副委員長 加藤 君子（静岡県地域赤十字奉仕団委員会副委員長）  
 // 松永 博（静岡県無線赤十字奉仕団委員長）  
 // 菅沼 博明（静岡県赤十字水上安全奉仕団委員長）

### イ 地域赤十字奉仕団

#### （ア）地域赤十字奉仕団委員会

地域赤十字奉仕団委員会は、各地域赤十字奉仕団の委員長で構成されており、静岡県支部管内の地域赤十字奉仕団の運営に関し情報交換を行うとともに、活動の推進に向けた協議及び連絡調整を行っている。

#### ◆地域赤十字奉仕団委員会役員（ ）内は所属赤十字奉仕団

委員長 小木 絹代（浜松市浜北） 常任委員 根本 壽美子（伊豆市）  
 副委員長 加藤 君子（浜松市天竜） // 渡邊 靖子（長泉町）  
 // 泉明寺 葉子（函南町） // 菊川 厚代（藤枝市藤枝）  
 // 八木 公代（牧之原市） // 塚本 里子（吉田町）  
 // 川島 厚枝（磐田市）  
 // 平賀 むつみ（浜松市佐久間）

#### <委員会等の実施状況>

| 開催日         | 活動内容                        | 会場    | 出席者/人数（人） |
|-------------|-----------------------------|-------|-----------|
| 4月24日       | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会・役員会          | 静岡県支部 | 33        |
| 5月22日       | 赤十字奉仕団静岡県支部委員会              | 静岡県支部 | 27        |
| 7月3日<br>～4日 | 赤十字奉仕団中央委員会                 | 本社    | 県委員長      |
| 9月4日<br>～5日 | 第3ブロック赤十字奉仕団委員長並びに<br>担当者会議 | 福井県支部 | 県委員長      |
| 10月16日      | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会              | 静岡県支部 | 33        |

#### （イ）各地区分区の赤十字奉仕団 【23市7町に計39団 団員 3,971人】

地域赤十字奉仕団は、地区分区を活動範囲として地域に根ざした奉仕活動を実践するために結成されている。

本年度も、各市町において活発な奉仕活動が展開された。

## ウ 静岡県青年赤十字奉仕団 [団員 9人]

青年赤十字奉仕団は、将来の赤十字を担う青年や学生がボランティア活動を通して赤十字思想を理解し、奉仕の心を育成することを目的としている。

主に青少年赤十字活動を経験した青年や学生で構成されており、イベントへの協力や青少年赤十字活動への支援、他団体との連携を図っている。

本年度は、定例会を開催するとともに、SNSを活用した活動紹介や団員募集等の広報活動、全国の青年奉仕団との情報交換に取り組み、組織の充実強化に努めた。



▲ハートラちゃんて赤十字をPR

### ◆青年赤十字奉仕団役員

委員長 中島 正崇 副委員長 後藤 大希

### <主な活動内容>

| 開催日           | 活動内容                           | 実施方法/<br>会場 | 参加者数<br>(人) |
|---------------|--------------------------------|-------------|-------------|
| 5月17日         | 青年赤十字奉仕団第1回全国協議会               | Web         | 1           |
| 6月21日<br>~22日 | 第3ブロック青年赤十字奉仕団代表者及び<br>支部担当者会議 | 富山県支部       | 2           |
| 1月17日         | 青年赤十字奉仕団第2回全国協議会               | Web         | 1           |

## エ 特殊赤十字奉仕団

### (ア) 静岡県無線赤十字奉仕団 [団員 154人]

静岡県無線赤十字奉仕団は、県内在住のアマチュア無線従事者で組織されている。

静岡県支部社屋に統制局、浜松赤十字病院、伊豆赤十字病院、裾野赤十字病院、下田市に副統制局を設けて、日本赤十字社の災害救護業務を円滑に遂行できるよう、無線通信技術を活かした活動を展開している。

本年度は、日本赤十字社静岡県支部・伊豆赤十字病院合同災害救護訓練に参加し、災害発生時の迅速なアマチュア無線局運用体制の確立と正確な情報収集を目的に全国及び県内非常通信訓練を行った。



▲無線通信訓練

### ◆静岡県無線赤十字奉仕団役員

委員長 松永 博  
副委員長 森下 剛嗣 古田 多津彦 山本 忠男

#### (イ) 静岡県赤十字安全奉仕団 [団員 288 人]

静岡県赤十字安全奉仕団は、赤十字講習指導員や赤十字救急法救急員等で組織されている。

大道芸ワールドカップ in 静岡での救護活動や、赤十字救急法競技会の運営協力などの活動のほか、赤十字講習で使用する講習器材の整備や、受付等運営の協力を行った。



▲講習器材の整備

##### ◆静岡県赤十字安全奉仕団役員

委員長 大滝 峰雄

副委員長 松永 みほ子 細見 誠 飯田 恵司

#### (ウ) 静岡県赤十字水上安全奉仕団 [団員 69 人]

静岡県赤十字水上安全奉仕団は、赤十字水上安全法指導員や赤十字水上安全法救助員で組織されている。

本年度も、水の事故から生命を守る赤十字水上安全法講習を指導したほか、県内の水泳競技大会や、海、河川での監視活動を行った。



▲監視活動

##### ◆静岡県赤十字水上安全奉仕団役員

委員長 菅沼 博明

副委員長 尾形 威頌 中嶋 晴隆 高岡 克典

#### (エ) 静岡県点訳赤十字奉仕団 [団員 14 人]

静岡県点訳赤十字奉仕団は、点字講習会を受講した主婦、会社員などで組織されている。

本年度は、日常生活になくてはならないカレンダー、土日・休日当番医表、静岡県支部の広報紙「赤十字しずおか」をはじめ、昨年度に引き続き静岡赤十字病院の広報誌「日赤 News」を点訳し、視覚障がいのある人の生活を支援する活動を行った。また、初心者向けの点字教室を開催し、市民への普及を図った。



▲点字教室の開催

##### ◆静岡県点訳赤十字奉仕団役員

委員長 佐藤 和子

副委員長 松永 和子

**(オ) 静岡県赤十字看護奉仕団 [団員 23 人]**

静岡県赤十字看護奉仕団は「VS(ボランティアサービス) たんぽぽ」の愛称で、県内在住の看護師がその知識と技術を活かして主に地域の保健福祉に関する分野で活動している。

本年度は、高齢者や障がいのある人を中心とした行事での臨時救護や大道芸ワールドカップでの救護協力を行った。



▲大道芸ワールドカップでの救護協力

◆静岡県赤十字看護奉仕団役員

委員長 望月 律子

副委員長 吉田 美智枝

**(カ) 静岡県柔道整復師赤十字奉仕団 [団員 300 人]**

静岡県柔道整復師赤十字奉仕団は、柔道整復師がその知識と技術を活かしたボランティア活動を通じて、明るく住み良い社会を築き上げていくことを目的として活動している。

本年度は、団員の知識・技術の向上を図るため、救急法を取り入れた研修を実施した。

また、赤十字救急法競技会の交流コーナーへブース出展し、来場者にテーピング技術や活動を紹介した。



▲毛布を使った搬送の確認をする団員

◆静岡県柔道整復師赤十字奉仕団役員

委員長 小澤 喜一

副委員長 大川 宏和 松本 洋昭 安間 台

**(キ) 静岡県青少年赤十字賛助奉仕団 [団員 78 人]**

静岡県青少年赤十字賛助奉仕団は、幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校などで青少年赤十字の指導に当たっていた教育経験者で組織されている。

本年度も青少年赤十字の普及発展を支援し、青少年の健全育成に寄与するために、青少年赤十字未加盟校への加盟促進や 100 文字作文コンクールの審査等の支援活動を行った。特に本年度は青少年赤十字文庫事業についての周知活動を積極的に実施し「やさしさと思いやりの心」の育成に尽力した。



▲加盟登録式に出席

◆静岡県青少年赤十字賛助奉仕団役員

|      |    |       |    |        |
|------|----|-------|----|--------|
| 委員長  | 早川 | 和幸    |    |        |
| 副委員長 | 萱沼 | 栄（東部） | 池上 | 守（中部）  |
|      | 尾上 | 弘（西部） | 永井 | 正（高校部） |

（ク）静岡県芸能赤十字奉仕団【団員 22人】

静岡県芸能赤十字奉仕団は、大道芸パフォーマンスを行う奉仕者組織として結成された。

本年度は、赤十字救急法競技会におけるパフォーマンスで会場を盛り上げたほか、高齢者施設のパフォーマンス慰問などを行った。

◆静岡県芸能赤十字奉仕団役員

|      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 藤田 | 秋夫 |
| 副委員長 | 並木 | 広和 |



▲救急法競技会で  
会場を盛り上げる団員

## 5 青少年赤十字 (Junior Red Cross) 活動

青少年赤十字は、児童や生徒が「やさしさと思いやりのこころを育むこと」を目的に「気づき・考え・実行する」という態度目標と「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ取り組んでいる。

本年度は、大阪・関西万博や大阪赤十字病院などを訪問し赤十字活動への理解の深化を図るとともに、青少年赤十字文庫の整備、活動支援など青少年赤十字活動の活性化に取り組んだ。

### (1) 加盟校の状況

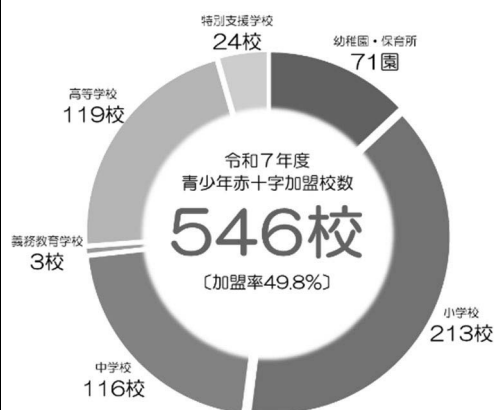
青少年赤十字を学校教育の中でより進めていただくよう、未加盟校、教育委員会等を訪問して青少年赤十字活動の意義を広く訴求し、青少年赤十字への理解促進に努めた。

#### <目標と実績>

|     |                                                    |       |
|-----|----------------------------------------------------|-------|
| 目 標 | 青少年赤十字創設 110 年目（令和 14 年）<br>小学校・中学校・義務教育学校・高等学校加盟率 | 50%   |
| 実 績 | 令和 7 年度<br>小学校・中学校・義務教育学校・高等学校加盟率                  | 49.8% |

#### <校種別加盟校数および前年度比較>

|         | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 対前年度<br>比較増減 |
|---------|---------|---------|--------------|
| 幼稚園・保育所 | 52 園    | 71 園    | 19 園         |
| 小学校     | 192 校   | 213 校   | 21 校         |
| 中学校     | 109 校   | 116 校   | 7 校          |
| 義務教育学校  | 3 校     | 3 校     | —            |
| 高等学校    | 112 校   | 119 校   | 7 校          |
| 特別支援学校  | 17 校    | 24 校    | 7 校          |
| 計       | 485 校   | 546 校   | 61 校         |



#### <青少年赤十字賛助奉仕団による学校等訪問数>

| 幼・保<br>こども園 | 小学校   | 中学校  | 義務教育<br>学校 | 高等学校 | 特別支援<br>学校 | 教育委員会<br>校長会 | 計     |
|-------------|-------|------|------------|------|------------|--------------|-------|
| 33 園        | 106 校 | 55 校 | 2 校        | 18 校 | 15 校       | 35 箇所        | 264 校 |

### (2) 青少年赤十字活動の状況

#### ア 「青少年赤十字文庫」の創設

児童・生徒のやさしさと思いやりの心を育むため、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関連した書籍を図書室に「青少年赤十字文庫」コーナーとして整備した。

|        | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 計     | 整備率    |
|--------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 小学校    | 157 校 | 24 校  | 26 校  | 207 校 | 97.2%  |
| 中学校    | —     | 77 校  | 19 校  | 96 校  | 82.8%  |
| 義務教育学校 | —     | 3 校   | —     | 3 校   | 100.0% |
| 高等学校   | —     | —     | 34 校  | 34 校  | 28.6%  |
| 特別支援学校 | 7 校   | —     | 15 校  | 22 校  | 91.7%  |
| 計      | 164 校 | 104 校 | 94 校  | 362 校 | 76.2%  |



▲整備した青少年赤十字文庫

## イ 高校生メンバー研修会

高校生メンバーの「気づき、考え、実行する」力を育み、他校との交流を図ること、自校でのよりよい活動を考える機会とすることを目的に高校生メンバー研修会を実施した。

＜参加校数・参加者数＞ 14 校・252 人

稲取高等学校、三島南高等学校、沼津商業高等学校、富士市立高等学校、吉原高等学校、沼津中央高等学校、沼津特別支援学校伊豆田方分校、清水国際高等学校、静岡サレジオ高等学校、清流館高等学校、藤枝東高等学校、島田商業高等学校、掛川東高等学校、湖西高等学校

＜研修内容＞

| 開催日               | 内 容                                   | 会 場                        |
|-------------------|---------------------------------------|----------------------------|
| 6 月 15 日          | ・オリエンテーション<br>・講話「赤十字と青少年赤十字」「万博と赤十字」 | Web                        |
| 7 月 13 日          | ・炊き出し体験<br>・赤十字防災セミナー「ひなんじょたいけん」      | 支部                         |
| 8 月 4 日<br>～5 日   | 未来へのアクション☆人道実現プログラム                   | 大阪・関西万博<br>人と防災未来センター 他    |
| 9 月 7 日           | 未来へのアクション☆Cleanup Project             | 支部、静岡市内                    |
| 10 月 4 日          | 第 13 回赤十字救急法競技会                       | グランシップ                     |
| 11 月 9 日          | 未来へのアクション☆人道実現プログラム 報告会               | Web                        |
| 12 月 1 日<br>～25 日 | NHK 海外たすけあい街頭募金                       | サントムーン柿田川、<br>三嶋大社、掛川花鳥園 他 |
| 2 月 8 日           | 各校のまとめ・発表                             | Web                        |



▲炊き出し体験



▲大阪・関西万博



▲人と防災未来センター



▲Cleanup Projects



▲赤十字救急法競技会



▲NHK 海外たすけあい街頭募金

## ウ 指導者の養成・強化

赤十字事業への理解を深め、各加盟校で「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関する実践活動に取り組むことができるよう研修会を開催した。

| 開催日   | 内 容                                     | 会 場           | 参加者  |
|-------|-----------------------------------------|---------------|------|
| 6月5日  | ・ 令和6年度青少年赤十字活動報告<br>・ 青少年赤十字出前講座の紹介・体験 | 支部            | 25 名 |
| 6月6日  |                                         | 研修交流センター（浜松市） |      |
| 6月13日 |                                         | ゆうゆうホール（三島市）  |      |

## エ 第14回静岡県青少年赤十字100文字作文コンクール

やさしさと思いやりの心を育むために、園児・児童・生徒が日々の生活や体験したことを振り返り、自分の思いや考えを表現するコンクールを開催した。

### ＜応募数・応募校数＞

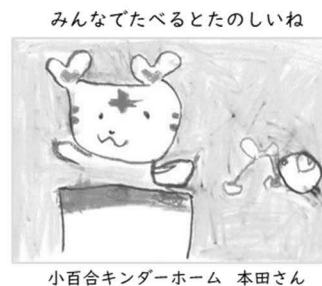
| 募集部門           | 応募校数 | 応募作品数   | 入賞作品数 |
|----------------|------|---------|-------|
| 短作文部門（100文字作文） | 59 校 | 1,419 点 | 81 点  |
| 作文部門           | 18 校 | 50 点    | 21 点  |
| ハートラちゃんのお絵かき部門 | 3 園  | 65 点    | 15 点  |
| 計              | 68 校 | 1,534 点 | 117 点 |

※応募校数の合計は、重複を除いた実数値で掲載していること。

### ◆入賞作品の紹介

|                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>命は愛らしく、尊い</p> <p>妹が生まれた。母と一週間<br/>会えなくて寂しかった。親を<br/>独り占めできなくなると悲し<br/>くなった。でも、生まれたて<br/>の妹の顔を見るとすべてがど<br/>うでも良くなった。ただただ<br/>愛らしかった。命は大切な<br/>そして、何よりも尊いものだ<br/>と感じた。</p> <p>浜松市立北浜小学校 寺戸 祥葉</p> | <p>救いたい</p> <p>道ばたにおばあちゃんが倒<br/>れていた。たなかで運んだ。<br/>僕はおばあちゃんを亡くして<br/>いる。そうやってほしくない<br/>から救いたいと心から強く思<br/>った。そして無事だと言われ<br/>た時、喜びしかなかった。そ<br/>こには過去にない自分がいた。</p> <p>焼津市立焼津中学校 秋山 治士</p> | <p>自分ができること</p> <p>ある日電車に乗っていた時、<br/>隣に座っていた高齢の女性が<br/>話しかけてくれた。たわいも<br/>ない会話をした後、私の降り<br/>る駅についたとき、「話して<br/>くれてありがとう。」と感謝<br/>された。些細な会話も人のた<br/>めになることを知った。</p> <p>静岡県立田方農業高等学校 三枝 井依</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

▲短作文部門（100文字作文）



▲ハートちゃんのお絵かき部門

## オ 青少年赤十字出前講座

青少年赤十字賛助奉仕団、地域赤十字奉仕団、防災ボランティア、地区区分と連携し、赤十字防災セミナー等を実施した。

| 名称              | 実施回数 | 受講人数    |
|-----------------|------|---------|
| 赤十字 BLS 入門講座    | 51 回 | 2,545 人 |
| 避難生活での自助・共助     | 25 回 | 1,090 人 |
| 家具安全対策ゲーム (KAG) | 3 回  | 180 人   |
| うちのキケン          | 1 回  | 99 人    |
| 炊き出し体験          | 9 回  | 319 人   |
| その他 (講話 他)      | 7 回  | 1,461 人 |
| 計               | 96 回 | 5,694 人 |



※表中の数字は P9「赤十字防災セミナー 実施状況」及び P12「赤十字救急法講習 実施状況」から青少年赤十字加盟校での実績のみ抜粋

## カ 青少年赤十字活動支援事業

加盟校 (園) における実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関する活動を実施するための経費を助成した。

### < 青少年赤十字活動支援金の概要 >

| 名 称   | 実践活動奨励金           | 探究活動助成金             |
|-------|-------------------|---------------------|
| 対象活動  | 実践目標に関連した基礎的な実践活動 | 実践目標に関連した深い探究活動     |
| 対 象 校 | 主に幼稚園・保育所、小学校、中学校 | 主に中学校、高等学校 (幼・保は除く) |
| 金 額   | 申請校に対して一律 1 万円    | 申請校に対して上限 5 万円      |
| 助成校数  | 317 校 (交付率 58.1%) | 68 校 (交付率 14.3%)    |

### < 校種別交付校数 >

|         | 幼・保<br>こども園 | 小学校   | 中学校  | 義務教育<br>学校 | 高等学校 | 特別支援<br>学校 | 計     |
|---------|-------------|-------|------|------------|------|------------|-------|
| 実践活動奨励金 | 42 園        | 171 校 | 67 校 | 3 校        | 20 校 | 12 校       | 317 校 |
| 探究活動助成金 | —           | 27 校  | 15 校 | 2 校        | 19 校 | 5 校        | 68 校  |

## キ 青少年赤十字国際交流事業

本社主催の隔年で開催している国際交流事業において、7年ぶりに静岡県支部で海外メンバーの受入れを行い、パラオ共和国から2名を迎えた。

海外メンバーとの交流を通じて国際理解と親善の心を育むとともに、当県における青少年赤十字活動の充実を図った。

| 開催日    | 内 容                                 | 会場・訪問先                       |
|--------|-------------------------------------|------------------------------|
| 10月25日 | ・オリエンテーション<br>・日本文化体験（藍染体験・ジブリ展）    | 支部、駿府匠宿 他                    |
| 26日    | ・ウェルカムパーティー<br>・しずおか探検              | 支部、静岡市中心街                    |
| 27日    | ・学校訪問、授業見学、交流<br>・しずおか学習（富士山の文化と信仰） | 富士市立吉原第二中学校<br>富士山世界遺産センター 他 |
| 28日    | ・日本赤十字社事業紹介<br>（災害救護、医療事業、血液事業 等）   | 支部、静岡赤十字病院、<br>静岡県赤十字血液センター  |
| 29日    | ・学校訪問、授業見学、交流<br>・しずおか学習（お茶の歴史と文化）  | 焼津市立港小学校、<br>ふじのくに茶の都ミュージアム  |
| 30日    | ・記念撮影                               | 支部                           |



▲ウェルカムパーティー



▲日本文化体験



▲加盟校交流（吉原第二中学校）



▲支部事業紹介



▲医療事業紹介（静岡赤十字病院）



▲授業見学（焼津港小学校）

## ク 海外救援活動への協力

海外の紛争や災害、疾病等により困難な状況にある人々を支援する青少年赤十字海外支援事業（バヌアツ・ルワンダ支援）に役立てるため、「青少年赤十字活動資金」の募金活動を加盟校に促進し、1,495 円の募金が集まった。

### (3) 青少年赤十字指導者協議会

青少年赤十字の普及と加盟校同士の連携を目的として、加盟校の校長や指導者などで構成する「静岡県青少年赤十字指導者協議会」が組織されている。

青少年赤十字への理解・加盟促進についての協議などが行われた。

| 開催日   | 事業名                               | 内 容                       | 参加者数 |
|-------|-----------------------------------|---------------------------|------|
| 5月9日  | 第1回役員会                            | ・評議員会について<br>・役員関連事業の確認   | 13人  |
| 5月9日  | 評議員会                              | ・規約改正<br>・事業報告、事業計画       | 31人  |
| 5月9日  | 研修会                               | ・活動支援金事例紹介<br>・出前講座の紹介と体験 | 31人  |
| 6月20日 | 第3ブロック青少年赤十字<br>指導者協議会長及び支部担当者研究会 | ・協議事項<br>・照会事項            | 4人   |
| 7月4日  | 青少年赤十字全国指導者協議会<br>総会・研修会          | ・事業報告<br>・グループディスカッション    | 1人   |
| 8月6日  | 指導主事対象青少年赤十字研究会                   | ・講演<br>・グループディスカッション      | 1人   |
| 2月19日 | 第2回役員会                            | ・事業報告<br>・次年度事業計画         | 14人  |



## 6 国際活動

世界各地では、今もなお民族の対立や政治経済の混乱などに起因する様々な紛争、風水害、干ばつ、地震などの自然災害、感染症が多発し、その犠牲者や被害者は依然として増加している傾向にある。

紛争や災害時の人道的活動は、赤十字活動の基本的使命であり、日本赤十字社は国際赤十字の一員として、各国の赤十字社・赤新月社、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟と連携して「国際救援」と「開発協力」の活動を展開している。

静岡県支部では、第3ブロック支部と共同して国際活動に参加するとともに、NHK 海外たすけあいなど海外救援金を募集した。

### (1) 第3ブロック支部共同事業

日本赤十字社は、様々な紛争や自然災害などによって被害を受けた外国の人々のために救援活動に従事する国際救援要員を派遣し、被災国の赤十字社の組織運営強化に結びつく援助を行っている。

静岡県支部は、第3ブロック支部共同事業として、次の事業に参加した。

#### ＜第3ブロック支部共同事業＞

| 事業名（対象地域）                                   | 事業費総額（千円）<br>（ ）内は静岡県支部<br>の支出額 | 事業内容                                                                               |
|---------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| プライマリーヘルス・<br>スケールアップ事業及び医療技術支援<br>事業（レバノン） | 6,000<br>(920)                  | レバノンにおける一次医療サービスの向上を目的として、プライマリーヘルス・センター（診療所）の環境整備及び、医療スタッフやボランティアへの研修を実施          |
| アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット<br>整備事業（アジア・大洋州）        | 4,500<br>(690)                  | アジア・大洋州地域の災害多発国への給水・衛生災害対応キットの整備と資機材の見直し及び、現地赤十字社スタッフ等への給水・衛生に関する研修や地域の人々への衛生教育を実施 |
| 南部アフリカ地域感染症対策事業<br>（南部アフリカ地域）               | 4,500<br>(690)                  | 対象地域における HIV/エイズ等の感染症対策やエイズ孤児・貧困世帯への支援、タンク設置等の水と衛生に関する活動を実施                        |



▲地域研修で給水資機材の説明を行うスタッフ  
と参加者（アジア・大洋州） ©IFRC



▲マラウイのコミュニティ託児所の子もたち  
（南部アフリカ地域） ©日本赤十字社

## (2) NHK海外たすけあい等海外救援金の募集

### ア NHK海外たすけあい

日本赤十字社は昭和 58 年から NHK と共催し、アジア、アフリカ地域を中心とする開発途上国の災害救援、難民支援、保健衛生の向上などを目的とした NHK 海外たすけあいを実施している。

本年度は、NHK の放送や SNS などを通じて呼びかけたほか、街頭募金を実施した。



▲NHK 静岡放送局での受付

|              | 第 43 回（令和 7 年） |            | 第 42 回（令和 6 年） |            | 第 41 回（令和 5 年） |            |
|--------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|
| 全体目標額        | 8 億 5,000 万円   |            | 8 億 5,000 万円   |            | 8 億 5,000 万円   |            |
| 全体実績額        | 8 億 7,232 万円   |            | 7 億 2,594 万円   |            | 8 億 6,384 万円   |            |
| 静岡県支部<br>の概要 | 件数<br>(件)      | 金額<br>(円)  | 件数<br>(件)      | 金額<br>(円)  | 件数<br>(件)      | 金額<br>(円)  |
|              | 1,225          | 16,676,734 | 1,052          | 18,284,745 | 1,211          | 15,379,246 |

### イ 海外救援金

海外で発生した武力紛争、自然災害や病気などにより困難な状況にある人々を支援するために海外救援金を募集した。

なお、静岡県支部が受付けた海外救援金は、下表のとおりである。（受付期間の累計）

| 救援金名（受付期間）                          | 件数<br>(件) | 金額<br>(円)  |
|-------------------------------------|-----------|------------|
| 中東人道危機救援金（H27.4.1～R9.3.31）          | 58        | 201,096    |
| バングラデシュ南部避難民救援金（H29.9.22～R9.3.31）   | 53        | 1,146,313  |
| ウクライナ人道危機救援金（R4.3.2～R9.3.31）        | 1,425     | 36,154,288 |
| 2025 年ミャンマー地震救援金（R7.4.1～R7.6.30）    | 53        | 475,191    |
| 2025 年アフガニスタン地震救援金（R7.9.4～R7.11.28） | 3         | 13,073     |
| 2025 年パキスタン洪水救援金（R7.9.19～R7.11.28）  | 2         | 20,211     |
| イラン及び周辺国人道危機救援金（R8.3.16～R8.5.29）    | 2         | 13,488     |

## (3) 国際救援・開発協力要員の確保

日本赤十字社は、海外の災害救援や保健衛生向上のために高い語学力と国際活動への参加意思を持ち、長期にわたり国際活動に従事できる人材（国際救援・開発協力要員）を派遣している。

静岡県支部で確保している要員は、4 人である。

## 7 社業振興事業

日本赤十字社の活動は、会員等の支援者が拠出する会費と一般の方からの寄付金によって運営されている。

本年度も、自治会や町内会等を通じた地域に密着した方法で活動資金募集を展開したほか、法人会員の増強などに努め、活動資金収納額は4億7千万円余となった。

### (1) 赤十字運動

5月1日が日本赤十字社創立記念日、5月8日が赤十字の創始者アンリー・デュナン生誕を記念した世界赤十字デーであることから5月を赤十字運動月間としている。

より多くの県民に赤十字運動へ参加していただくため、地区分区関係者をはじめ、協賛委員会、奉仕団、有功会などの協力を得て県下一斉に会員等支援者の増強に努めた。

また、赤十字活動資金にご協力くださった方々に表彰基準に則り、有功章等を贈呈した。

＜有功章及び感謝状受章者数（社資功労）＞

| 受章区分<br>地区分区名 | 金色有功章 |       | 銀色有功章 |       | 社長感謝状 |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|               | 個人（人） | 法人（社） | 個人（人） | 法人（社） | 個人（人） | 法人（社） |
| 熱海市           | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     |
| 三島市           | 0     | 0     | 1     | 0     | 2     | 2     |
| 沼津市           | 0     | 0     | 3     | 1     | 0     | 2     |
| 静岡市清水         | 0     | 0     | 2     | 0     | 0     | 0     |
| 静岡市葵・駿河       | 0     | 0     | 1     | 1     | 0     | 1     |
| 焼津市           | 1     | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     |
| 磐田市           | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     |
| 浜松市中央区中       | 0     | 0     | 0     | 0     | 2     | 0     |
| 浜松市浜名区浜北      | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     | 0     |
| 浜松市天竜区        | 0     | 0     | 0     | 2     | 0     | 0     |
| 小山町           | 1     | 0     | 2     | 0     | 0     | 0     |
| 支部扱い          | 3     | 2     | 11    | 1     | 2     | 1     |
| 支部扱い（施設）      | 1     | 2     | 1     | 0     | 0     | 0     |
| 計             | 6     | 4     | 21    | 7     | 7     | 7     |

## （２）法人会員の増強

活動資金の増強を図るためには、法人の協力を求めることが不可欠であるため、県下の法人を対象に赤十字の使命を伝え、活動資金の使途を明確にするほか、新たに支部長依頼状を同封するなど、訴求力を高めたダイレクトメールを２回送付した。この結果、昨年度と比べて、法人寄付単価が約 6,500 円の増、法人社資では約 1,500 万円の増となり、ダイレクトメール全体として約 4,062 万円の協力を得ることができた。

また、商工会議所・経営者協会を通じた法人へのアプローチとして、各会員あてに、活動資金募集のチラシを送付した。

## （３）活動資金募集の拡充（遺贈、相続財産による寄付の推進）

ア 赤十字講習受講者への認定証の交付に際し、リーフレットや振込用紙を配付して活動資金への協力を働きかけた。

イ 遺贈や相続財産の寄付を案内するパンフレットを、日頃の相続相談業務に活用いただくよう東海税理士会を通じて県内の同会所属会員に配付した。同様に、県弁護士会等を訪問し、会員へのパンフレット配付及び周知を依頼し、さらに、県内公証役場にも送付し活用を依頼した。



▲遺言・相続セミナー

ウ 静岡新聞への広告掲載やWEB サイトでPRを行った。

エ 静岡市にて「遺言・相続セミナー」を実施。静岡県司法書士会との共同開催により、司法書士会のセミナー・無料相談と、日本赤十字社静岡県支部の遺贈・相続財産寄付セミナーを行った。

オ 本年度は、600,000 円の相続財産による寄付実績があった。

## （４）赤十字チャリティーボックスの設置

県内の地域赤十字奉仕団と JA 静岡中央会等の協力により、JA 関係機関、県内の商店、スーパーマーケット、ホテル、公民館など約 1,000 箇所に赤十字チャリティーボックスを設置しており、本年度は約 124 万円の収納実績を得た。

## (5) 令和7年度活動資金（社資収入）収納額

本年度の活動資金収納額は、475,622,973円で、対目標額94.6%となった。

| 地区区分             | 目標額                        | 活動資金収納額                    | 目標対比[%]        |
|------------------|----------------------------|----------------------------|----------------|
| 下田市              | 2,702,000                  | 2,871,500                  | 106.3          |
| 伊東市              | 6,924,000                  | 7,027,000                  | 101.5          |
| 熱海市              | 1,991,000                  | 2,337,508                  | 117.4          |
| 伊豆市              | 4,454,000                  | 6,100,705                  | 137.0          |
| 伊豆の国市            | 5,806,000                  | 6,112,500                  | 105.3          |
| 三島市              | 11,587,000                 | 13,497,805                 | 116.5          |
| 沼津市              | 21,242,000                 | 22,619,297                 | 106.5          |
| 裾野市              | 6,996,000                  | 6,750,000                  | 96.5           |
| 御殿場市             | 7,769,000                  | 8,528,227                  | 109.8          |
| 富士宮市             | 17,196,000                 | 17,660,100                 | 102.7          |
| 富士市              | 27,093,000                 | 30,678,477                 | 113.2          |
| 静岡市清水            | 28,448,000                 | 29,388,792                 | 103.3          |
| 静岡市葵・駿河<br>（静岡市） | 32,898,000<br>(61,346,000) | 38,028,072<br>(67,416,864) | 115.6<br>109.9 |
| 焼津市              | 21,481,000                 | 22,800,117                 | 106.1          |
| 藤枝市              | 16,703,000                 | 15,751,018                 | 94.3           |
| 島田市              | 11,163,000                 | 11,738,967                 | 105.2          |
| 牧之原市             | 5,212,000                  | 5,610,820                  | 107.7          |
| 御前崎市             | 4,812,000                  | 3,940,170                  | 81.9           |
| 掛川市              | 15,479,000                 | 21,224,905                 | 137.1          |
| 菊川市              | 5,958,000                  | 6,310,811                  | 105.9          |
| 袋井市              | 11,536,000                 | 12,423,297                 | 107.7          |
| 磐田市              | 16,777,000                 | 18,597,533                 | 110.9          |
| 浜松市              | 78,020,000                 | 86,780,811                 | 111.2          |
| （中央区中）           | —                          | (23,876,895)               | —              |
| （中央区東）           | —                          | (11,782,332)               | —              |
| （中央区西）           | —                          | (12,258,190)               | —              |
| （中央区南）           | —                          | (11,128,166)               | —              |
| （浜名区浜北）          | —                          | (15,345,152)               | —              |
| （浜名区北）           | —                          | (7,967,476)                | —              |
| （天竜区）            | —                          | (4,422,600)                | —              |
| 湖西市              | 8,086,000                  | 8,216,434                  | 101.6          |
| 東伊豆町             | 1,403,000                  | 1,345,400                  | 95.9           |
| 河津町              | 1,026,000                  | 1,004,170                  | 97.9           |
| 南伊豆町             | 1,124,000                  | 1,060,000                  | 94.3           |
| 松崎町              | 1,117,000                  | 1,181,500                  | 105.8          |
| 西伊豆町             | 1,345,000                  | 1,402,011                  | 104.2          |
| 函南町              | 3,693,000                  | 3,635,210                  | 98.4           |
| 清水町              | 4,836,000                  | 5,795,500                  | 119.8          |
| 長泉町              | 6,547,000                  | 6,869,046                  | 104.9          |
| 小山町              | 3,119,000                  | 2,806,500                  | 90.0           |
| 吉田町              | 3,508,000                  | 3,980,430                  | 113.5          |
| 川根本町             | 1,181,000                  | 1,098,500                  | 93.0           |
| 森町               | 2,768,000                  | 2,867,500                  | 103.6          |
| （地区区分計）          | 402,000,000                | 438,040,633                | 109.0          |
| 支部扱い             | 101,000,000                | 37,582,340                 | 37.2           |
| （合計）             | 503,000,000                | 475,622,973                | 94.6           |

## (6) 令和7年静岡県赤十字大会の開催

9月12日に静岡県コンベンションアーツセンターグランシップにおいて、関係者約220人が参加し、赤十字事業に貢献された方々の顕彰と更なる赤十字活動の推進を期して令和7年静岡県赤十字大会を開催した。

第一部の式典では、静岡県支部長鈴木康友（県知事）から赤十字への活動資金の協力やボランティア活動に貢献された方々に対し有功章、社長感謝状、支部長表彰状・感謝状を贈呈した。また、令和7年5月から3か月間、国際医療支援活動のためバングラデシュに派遣された浜松赤十字病院の鳥井美穂看護師や、静岡県立三島南高等学校 JRC 部の生徒による活動発表を行った。



▲参会した受章者の皆さま

第二部では、『鹿鳴館の花は散らず』（赤十字活動を支えた侯爵夫人 鍋島榮子の一生を描いた歴史小説）の著者で静岡市出身の作家、植松三十里様による記念講演を行った。

## (7) 全国赤十字大会への参加

令和7年全国赤十字大会は、5月13日に日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁各妃殿下ご臨席のもと、東京の明治神宮会館で開催された。

全国から約1,400人が参会し、静岡県支部からは36人が参会した。

大会では、名誉総裁皇后陛下より赤十字活動への功績があった個人や団体の代表ら13人に有功章が授与され、幕末から明治時代にかけて、肥前藩（佐賀藩）で活躍した「佐賀の八賢人」をモチーフにした役者ユニット「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」が登場。

赤十字創始者である佐野常民と副島種臣、江藤新平の3氏に扮し、寸劇を披露した。

## (8) 日本赤十字社静岡県支部協賛委員会

自治会、町内会あるいは奉仕団の方々には、活動資金の募集等様々な協力をいただいている。市町の自治会、町内会の役員で構成されている静岡県支部協賛委員会が4月に開催され、令和7年度の運営方針が決定された。

| 開催日   | 内 容                             |
|-------|---------------------------------|
| 4月16日 | 〈令和7年度運営方針〉赤十字事業の周知・会員等支援者増強の推進 |
| 8月    | 役員改選（文書審議）                      |

## (9) 日本赤十字社静岡県有功会

静岡県有功会は、赤十字事業の支援等を目的に有功章受章者で組織されており、令和8年3月末現在の会員数は352人となっている。

本年度は、支部事業の支援として、赤十字救急法競技会の有功会長賞、青少年赤十字100文字作文コンクールの参加賞を提供した。



▲静岡市葵区で開催された有功会総会

## (10) 赤十字思想の普及（広報活動）

赤十字の活動を推進するためには、県民の赤十字に対する理解と支援が不可欠であり、事業内容や活動資金の使途をわかりやすく説明することが求められているため「活動報告とお礼」に留意した広報を展開している。

### ア 活動資金募集チラシ

静岡県支部が行っている災害への備え、救急法等の講習、青少年赤十字の推進について紹介し、赤十字の活動を持続可能にするための支援を訴求したチラシを作製し、自治会・町内会を通じて各世帯へ回覧または配布した。

### イ 静岡県支部広報紙「赤十字しずおか」

赤十字活動を会員等支援者の皆様にわかりやすく伝えることを目的に、年2回（8月、1月）計9万5千部を発行し、自治会や図書館、行政窓口等で配布した。



▲活動資金募集チラシ



▲支部広報紙「赤十字しずおか（vol.138）」



### ウ 赤十字運動用ステッカー

商業組合静岡県タクシー協会及び静岡県個人タクシー協会の協力を得て、ステッカー4,350枚を県内のタクシーに貼付した。

### エ 赤十字 NEWS

本社発行の「赤十字NEWS」に記事を投稿するとともに、関係者に年間で延 25,000部を配付した。

### オ Web サイト

活動資金募集への理解や協力を促すため、災害救護活動、各種講習紹介等を行った。本年度は、76,766 ページビューがあった。

## カ SNS 広報の強化

若年層への情報伝達の充実を図り、支部事業への理解（共感）度・認知度を向上させることを目的に SNS を活用した広報を強化した。



▲赤十字運動用ステッカー



▲赤十字 NEWS



▲静岡県支部 Web サイトトップページ



▲静岡県支部 SNS (X)

## キ 各種イベントへの参加

県民への赤十字事業のさらなる理解促進を目的に他団体主催のイベントに積極的に参加し、AED を使用した心肺蘇生体験や事業紹介パネルの展示等をととして広報活動を実施した。



▲AED 使用体験【まな BO-SAI】



▲ハートラちゃんと記念撮影【SOF in 菊川】

## ク 大阪・関西万博 赤十字パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」への参画

令和7年4月 13 日から 10 月 13 日に開催された大阪・関西万博において、日本赤十字社は赤十字パビリオン「国際赤十字・赤新月運動館」の企画・運営を行い、開催期間中に 31 万人を超える来館者を迎えた。

赤十字パビリオンでは、国内外の人道危機に直面する現場の実情を職員の証言や映像を通じて紹介し、赤十字の基本理念と人道支援活動への理解促進を図った。

また、全国からのべ 1,200 人以上の職員・ボランティアがスタッフとして運営に携わり、1 日あたり約 40 人（早番・遅番合計）体制で来館者に対し丁寧な説明と対応を行った。

なお、静岡県支部及び静岡県赤十字血液センターからは 6 人の職員がパビリオン運営スタッフとして参加し、展示説明や来館者対応等を担当した。



▲赤十字パビリオン外観



▲運営スタッフ集合写真

## （１１）日本赤十字社創立 150 周年プロジェクトの推進

本プロジェクトは、創立 150 周年（2027 年）を契機として、2040 年以降、創立 200 年までを見据えた「新しい時代の赤十字」の構築を目指すことを目的としている。

スローガンは「一緒に創ろう 日赤の未来」。職員をはじめ赤十字関係者が一体となって推進していく「全員参加型のプロジェクト」で、このプロジェクトの目的を具現化するために、各支部・施設に推進メンバー・推進スタッフを置き、プロジェクトのエンジンとなってその推進を図っている。

### ア 推進メンバー及び推進スタッフ対象ワークショップへの参加

創立 150 周年プロジェクトに対する理解を深め、日赤として向き合うべき未来の人々の苦しみ（人道課題）及び日赤として目指す姿等に対する考えや思いを結集し、将来構想策定に資することを目的としたワークショップが、本社主催により愛知県支部で開催され、推進メンバー・推進スタッフに参加した。

### イ ワークショップの開催

本社が主催した推進メンバー・推進スタッフを対象としたワークショップの内容を踏まえ、日本赤十字社の未来（ビジョン）を作るための職員の思いや考えを結集することを目的に支部において全職員を対象としたワークショップを実施した。



▲支部ワークショップの様子

## 8 評議員会

静岡県支部では、日本赤十字社定款第 71 条に基づき、事業報告（収支決算を含む）及び事業計画（収支予算を含む）を評議員会に諮りながら各事業を推進している。

### （１）前期評議員会

6月12日、静岡県支部において開催。次の議案が原案どおり承認された。

第1号議案：令和6年度事業報告及び歳入歳出決算について

また、次の事項について報告を行った。

- ・令和6年能登半島地震災害 赤十字防災ボランティア等の派遣について
- ・大阪・関西万博「国際赤十字・赤新月運動館（赤十字パビリオン）」出展について

### （２）後期評議員会

2月4日、静岡県支部において開催。次の議案が原案どおり承認された。

第1号議案：令和8年度事業計画について

第2号議案：令和8年度歳入歳出予算について

また、次の事項について報告等を行った。

- ・令和7年台風第15号災害にかかる静岡県支部の災害対応
- ・日本赤十字社創立 150 周年プロジェクト PR・イベントの全体概要



▲評議員会の様子

## 9 一般会計決算概要

### (1) 歳入

(単位：円)

| 科目         | 予 算 現 額     |             |             | 決算額         | 予算現額に<br>比し増減 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
|            | 当初予算額       | 補正予算額       | 計           |             |               |
| 社資収入       | 503,000,000 | 11,624,000  | 514,624,000 | 476,336,195 | △38,287,805   |
| 一般社資収入     | 469,000,000 | 6,334,000   | 475,334,000 | 431,867,341 | △43,466,659   |
| 法人社資収入     | 34,000,000  | 5,290,000   | 39,290,000  | 44,468,854  | 5,178,854     |
| 委託金収入      | 0           | 0           | 0           | 715,093     | 715,093       |
| 補助金及び交付金収入 | 5,473,000   | 0           | 5,473,000   | 3,988,102   | △1,484,898    |
| 本社交付金収入    | 5,473,000   | 0           | 5,473,000   | 3,988,102   | △1,484,898    |
| 災害義援金預り金収入 | 0           | 108,748,000 | 108,748,000 | 108,747,980 | △20           |
| 繰入金収入      | 7,000,000   | 4,314,000   | 11,314,000  | 39,713,222  | 28,399,222    |
| 資金繰入金収入    | 7,000,000   | 4,314,000   | 11,314,000  | 39,713,222  | 28,399,222    |
| 資産収入       | 700,000     | 0           | 700,000     | 486,000     | △214,000      |
| 雑収入        | 10,827,000  | 0           | 10,827,000  | 6,722,963   | △4,104,037    |
| 利子収入       | 82,000      | 0           | 82,000      | 198,724     | 116,724       |
| 負担金収入      | 5,484,000   | 0           | 5,484,000   | 3,850,617   | △1,633,383    |
| 雑収入        | 5,261,000   | 0           | 5,261,000   | 2,673,622   | △2,587,378    |
| 前年度繰越金     | 60,000,000  | 0           | 60,000,000  | 56,897,523  | △3,102,477    |
| 歳入合計       | 587,000,000 | 124,686,000 | 711,686,000 | 693,607,078 | △18,078,922   |

## (2) 歳 出

(単位：円)

| 科目                   | 予 算 現 額            |                    |                   | 計                  | 決算額                | 不用額               |
|----------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|                      | 当初予算額              | 補正予算額              | 流用増減額             |                    |                    |                   |
| <b>災害救護事業費</b>       | <b>67,310,000</b>  | <b>112,348,000</b> | <b>0</b>          | <b>179,658,000</b> | <b>178,238,332</b> | <b>1,419,668</b>  |
| 災害救護指導事業費            | 14,280,000         | 0                  | 0                 | 14,280,000         | 13,547,107         | 732,893           |
| 災害救護装備費              | 42,780,000         | 0                  | 0                 | 42,780,000         | 42,251,398         | 528,602           |
| 非常災害救援物資整備費          | 0                  | 0                  | 0                 | 0                  | 0                  | 0                 |
| 災害義援金送付金             | 0                  | 108,748,000        | 0                 | 108,748,000        | 108,747,980        | 20                |
| 救護看護師指導養成費           | 10,250,000         | 3,600,000          | 0                 | 13,850,000         | 13,691,847         | 158,153           |
| <b>社会活動費</b>         | <b>135,140,000</b> | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>135,140,000</b> | <b>116,193,629</b> | <b>18,946,371</b> |
| 救急法等普及費              | 55,300,000         | 0                  | 0                 | 55,300,000         | 45,538,674         | 9,761,326         |
| 奉仕団活動費               | 20,170,000         | 0                  | 0                 | 20,170,000         | 17,156,453         | 3,013,547         |
| 青少年赤十字活動費            | 32,770,000         | 0                  | 0                 | 32,770,000         | 32,235,230         | 534,770           |
| 医療事業費                | 26,840,000         | 0                  | 0                 | 26,840,000         | 21,207,102         | 5,632,898         |
| 血液事業費                | 60,000             | 0                  | 0                 | 60,000             | 56,170             | 3,830             |
| <b>国際活動費</b>         | <b>2,510,000</b>   | <b>714,000</b>     | <b>0</b>          | <b>3,224,000</b>   | <b>3,018,699</b>   | <b>205,301</b>    |
| <b>指定事業地方振興費</b>     | <b>22,000,000</b>  | <b>714,000</b>     | <b>0</b>          | <b>22,714,000</b>  | <b>22,623,326</b>  | <b>90,674</b>     |
| <b>地区区分交付金支出</b>     | <b>80,180,000</b>  | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>80,180,000</b>  | <b>75,330,274</b>  | <b>4,849,726</b>  |
| <b>社業振興費</b>         | <b>52,130,000</b>  | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>52,130,000</b>  | <b>45,962,230</b>  | <b>6,167,770</b>  |
| 社業振興費                | 22,060,000         | 0                  | 0                 | 22,060,000         | 20,053,358         | 2,006,642         |
| 広報活動費                | 30,070,000         | 0                  | 0                 | 30,070,000         | 25,908,872         | 4,161,128         |
| <b>基盤整備交付金・補助金支出</b> | <b>4,500,000</b>   | <b>10,910,000</b>  | <b>0</b>          | <b>15,410,000</b>  | <b>15,410,000</b>  | <b>0</b>          |
| <b>積立金支出</b>         | <b>30,350,000</b>  | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>30,350,000</b>  | <b>10,023,984</b>  | <b>20,326,016</b> |
| 資金積立金支出              | 20,000,000         | 0                  | 0                 | 20,000,000         | 0                  | 20,000,000        |
| 退職給与資金特別会計積立金支出      | 10,350,000         | 0                  | 0                 | 10,350,000         | 10,023,984         | 326,016           |
| <b>総務管理費</b>         | <b>88,230,000</b>  | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>88,230,000</b>  | <b>83,988,828</b>  | <b>4,241,172</b>  |
| 評議員会等諸費              | 470,000            | 0                  | 0                 | 470,000            | 352,738            | 117,262           |
| 総務管理費                | 87,080,000         | 0                  | 0                 | 87,080,000         | 82,991,670         | 4,088,330         |
| 監査費                  | 680,000            | 0                  | 0                 | 680,000            | 644,420            | 35,580            |
| <b>資産取得及び資産管理費</b>   | <b>30,000,000</b>  | <b>0</b>           | <b>1,433,000</b>  | <b>31,433,000</b>  | <b>30,329,243</b>  | <b>1,103,757</b>  |
| <b>本社送納金支出</b>       | <b>70,650,000</b>  | <b>0</b>           | <b>0</b>          | <b>70,650,000</b>  | <b>66,557,517</b>  | <b>4,092,483</b>  |
| <b>予備費</b>           | <b>4,000,000</b>   | <b>0</b>           | <b>△1,433,000</b> | <b>2,567,000</b>   | <b>0</b>           | <b>2,567,000</b>  |
| <b>歳出合計</b>          | <b>587,000,000</b> | <b>124,686,000</b> | <b>0</b>          | <b>711,686,000</b> | <b>647,676,062</b> | <b>64,009,938</b> |

歳 入 合 計 693,607,078 円

歳 出 合 計 647,676,062 円

歳入歳出差引残額 45,931,016 円 (翌年度繰越額)

### (3) 資金増減明細表

(単位：円)

（単位：円）

| 資金別        |                                  | 前年度末<br>現在額      | 令和 7 年度      |              |                  | 令和 7 年度<br>積立額 | 令和 7 年度末<br>現在額  |
|------------|----------------------------------|------------------|--------------|--------------|------------------|----------------|------------------|
|            |                                  |                  | 増            | 減            | 差引額<br>(A) － (B) |                |                  |
|            |                                  |                  | 利子収入<br>(A)  | 元本繰出額<br>(B) |                  |                |                  |
| 災害等資金      |                                  | 1, 587, 450, 226 | 5, 411, 494  | 39, 000, 000 | △33, 588, 506    | 0              | 1, 553, 861, 720 |
| 国際救護活動資金   | 国際救護活動資金<br>(社資収入)               | 42, 515, 459     | 83, 206      | 0            | 83, 206          | 0              | 42, 598, 665     |
|            | 支部国際活動基金<br>(個人住民税控除適用)          | 11, 998, 973     | 23, 482      | 0            | 23, 482          | 0              | 12, 022, 455     |
|            | 支部国際活動基金<br>(個人住民税控除<br>適用海外救援金) | 0                | 0            | 713, 222     | △713, 222        | 713, 222       | 0                |
| 施設整備準備資金   |                                  | 1, 128, 562, 061 | 6, 522, 970  | 0            | 6, 522, 970      | 0              | 1, 135, 085, 031 |
| 特別退職金積立留保金 |                                  | 0                | 0            | 0            | 0                | 0              | 0                |
| 事業準備積立金    |                                  | 0                | 0            | 0            | 0                | 0              | 0                |
| 合 計        |                                  | 2, 770, 526, 719 | 12, 041, 152 | 39, 713, 222 | △27, 672, 070    | 713, 222       | 2, 743, 567, 871 |

## Ⅱ 医療事業・医療施設特別会計決算概要

県下4つの赤十字病院において、平時の一般診療に加えて災害時には救護活動にあたるなど赤十字の使命を果たすべく活動している。それぞれの病院が特色を生かして救急医療や地域の医療ニーズに取り組むほか、高齢社会へ対応する療養病床や在宅での療養、介護を支援するための訪問看護ステーションを設けるなど、安定的な医療の提供と福祉の増進に努めている。

### 1 静岡赤十字病院

#### (1) 診療状況の概要

| 病床数       |           | 職員数   |       |       |        | 入院患者数   |          |             | 外来患者数   |          |             |
|-----------|-----------|-------|-------|-------|--------|---------|----------|-------------|---------|----------|-------------|
| 許可<br>病床数 | 実働<br>病床数 | 医師    | 看護師   | その他   | 計      | 延数      | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 | 延数      | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 |
| 床         | 床         | 人     | 人     | 人     | 人      | 人       | 人        | %           | 人       | 人        | %           |
| 411       | 411       | 149.3 | 493.3 | 368.9 | 1011.5 | 135,682 | 371.7    | 94.9        | 188,648 | 782.8    | 99.3        |

#### (2) 訪問看護ステーションの状況

| 名称                   | 利用者数     | 訪問看護延回数    | 従事者数     | サービス内容      |
|----------------------|----------|------------|----------|-------------|
| しずおか日赤<br>訪問看護ステーション | 人<br>189 | 回<br>7,700 | 人<br>9.2 | 訪問看護、訪問リハビリ |

#### (3) 運営状況

本年度は、静岡赤十字病院第6次中期経営計画の初年度であった。急性期医療提供を持続可能にするための体制強化を達成目標の一つとして掲げ、具体的な取り組みとして、以下の事項を推進した。

##### ア 救急医療の充実

救命救急センター取扱実患者数は10,099人（令和6年度10,957人）であり、うち入院が4,134人（令和6年度4,273人）であった。救急車実搬入台数は5,141台（令和6年度5,555台）であった。静岡市消防管内の救急車搬入のうち、当院に搬入された割合は11.8%と4番目、応需率（救急隊からの問い合わせ回数に対する受入人数）は95.3%と2番目の水準であり、地域の救急医療の要としての機能を果たした。

##### イ 診療機能の強化

当院の役割として地域に求められる急性期医療機能を維持し、限られた医療資源を効率的かつ有効に活用する観点から、許可病床を54床削減し、411床とした。医師確保に向

けては、積極的な大学医局訪問を継続し、良好な関係作りを継続した。本年度は、循環器内科、心臓血管外科の循環器疾患に対する診療体制が強化され、手術件数等が増加した。

また、脳神経内科や整形外科等において、ニーズが高く予約枠が飽和状態であった磁気共鳴断層撮影装置（MRI）を増設し、患者の検査予約待ち期間の短縮を図るなど診療機能の強化に努めた。継続して患者に安全で低侵襲な手術を行うため、令和6年度に導入した手術支援ロボット、手術室移動型コンピューター断層撮影装置（CT）を積極的に活用した。新たに歯科医師を採用し、歯科口腔外科を開設したことで、課題の一つであった周術期の患者の口腔管理が改善した。

## ウ 地域医療連携の推進

国が進める地域医療構想の実現に向けた取り組みとして、地方独立行政法人静岡市立静岡病院、JA 厚生連静岡厚生病院との連携強化を目的として、令和7年4月に医療機能連携協定を締結し、円滑な患者の紹介及び受入を推進した。また、合同で市民公開講座を開催し、市民の健康増進に貢献する取り組みを行った。一方で、開業医との関係は、例年どおり静岡市静岡医師会との病診連携システム・開放型病床運営協議会について懇親会を含め開催した。本年度は、各診療科の医師が作成した紹介ポスターを用いてプレゼンテーションすることで、顔の見える関係作りをよりわかりやすい形で行った。

## エ 災害医療体制の充実

当院は、災害拠点病院に指定されており、大規模災害発生時は、広域から多数の傷病者を受け入れる役割を担っている。本年度は、医療機能連携協定の連携事項として、災害時医療合同訓練を主催し、連携医療機関との連携体制や役割分担について検証を行った。また、救護班5班を編成し、常時災害現場に派遣できる体制をとっている。令和7年度台風第15号災害の被害に対する支援として、こころのケア班を牧之原市へ派遣し、市民や市職員への心理的支援を行った。

## オ 安心・安全な医療提供体制の強化

年2回実施する全職員対象の医療に係る安全管理と感染管理の研修は、多くの職員の参加を得た。医療安全の観点から、インシデントレポートを医師中心に働きかけを行うことで積極的に収集し、分析を行い、迅速かつ適切な対策を講じた。また、本年度に認定を受けた病院の質を評価する病院機能評価において受けた指摘事項については、引き続き改善活動に取り組み、安心・安全な医療提供体制を強化した。

## カ 初期臨床研修医教育の推進

新たに全国から医師免許を取得した14人の初期臨床研修医を迎え、計28人となった。当院は、初期臨床研修医の教育機関である臨床研修病院に指定されており、医師として基本的な手技や知識を身につけさせるなど指導医を中心に将来の医療を担う医師の育成を行った。

#### (4) 訪問看護ステーションの運営

患者の最も身近な存在として、その人らしさを大切にしたケアを提供することを目指した。看護師・リハビリスタッフが連携し、生きる力を育む看護・リハビリを実践した。総合病院の付帯施設という特色を生かし、産科病棟との連携を強化し、助産師が新生児を対象とした訪問による母子支援など、他の施設にない特色を生かし、地域の医療ニーズに積極的に応えた。

#### (5) 決算概要

##### 収益的収入および支出

(単位:円)

| 科 目      | 予算現額            |       |                | 決算額             | 令和6年度<br>決算額   |
|----------|-----------------|-------|----------------|-----------------|----------------|
|          | 当初予算額           | 補正予算額 | 計              |                 |                |
| 病院収益     | 16,693,210,000  | 0     | 16,693,210,000 | 16,992,397,537  | 16,258,746,473 |
| 医業収益     | 16,023,986,000  |       | 16,023,986,000 | 15,969,402,635  | 15,690,981,593 |
| 医業外収益    | 590,048,000     |       | 590,048,000    | 920,078,099     | 489,056,152    |
| 医療社会事業収益 | 524,000         |       | 524,000        | 21,590,450      | 529,000        |
| 付帯事業収益   | 77,757,000      |       | 77,757,000     | 80,725,404      | 74,927,655     |
| 特別利益     | 895,000         |       | 895,000        | 600,949         | 3,252,073      |
| 科 目      | 予算現額            |       |                |                 | 令和6年度<br>決算額   |
|          | 当初予算額           | 補正予算額 | 流用増減           | 計               |                |
| 病院費用     | 17,699,790,000  | 0     | 0              | 17,699,790,000  | 16,797,252,278 |
| 医業費用     | 17,332,703,000  |       |                | 17,332,703,000  | 16,481,684,650 |
| 医業外費用    | 199,887,000     |       |                | 199,887,000     | 182,716,476    |
| 医療奉仕費用   | 55,074,000      |       |                | 55,074,000      | 41,395,669     |
| 付帯事業費用   | 77,885,000      |       |                | 77,885,000      | 65,403,127     |
| 特別損失     | 4,000,000       |       | 26,000,000     | 30,000,000      | 29,228,271     |
| 法人税等     | 241,000         |       |                | 241,000         | △ 3,175,915    |
| 予備費      | 30,000,000      |       | △ 26,000,000   | 4,000,000       | 0              |
| 収支差引額    | △ 1,006,580,000 | 0     | 0              | △ 1,006,580,000 | 195,145,259    |

##### 資本的収入および支出

(単位:円)

| 科 目     | 予算現額          |       |             |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|---------|---------------|-------|-------------|---------------|---------------|---------------|
|         | 当初予算額         | 補正予算額 | 前年度繰越事業費充当額 | 計             |               |               |
| 病院収入    | 1,626,204,000 | 0     | 0           | 1,626,204,000 | 1,350,650,205 | 2,879,101,029 |
| 固定負債    | 0             | 0     |             | 0             | 64,920,130    | 1,942,931,509 |
| その他資本収入 | 1,626,204,000 |       |             | 1,626,204,000 | 1,285,730,075 | 936,169,520   |
| 科 目     | 予算現額          |       |             |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|         | 当初予算額         | 補正予算額 | 前年度事業繰越額    | 計             |               |               |
| 病院費     | 1,626,204,000 | 0     | 0           | 1,626,204,000 | 1,350,650,205 | 2,879,101,029 |
| 固定資産    | 827,468,000   |       |             | 827,468,000   | 639,620,540   | 2,414,109,211 |
| 借入金等償還  | 798,736,000   |       |             | 798,736,000   | 711,029,665   | 464,991,818   |
| 収支差引額   | 0             | 0     | 0           | 0             | 0             | 0             |

##### 利益剰余金

(単位:円)

| 当期末処分利益(損失)A(a+b) | 前期繰越利益(損失) a  | 当期純利益(損失) b | 利益積立金B | 利益剰余金合計(A+B)  |
|-------------------|---------------|-------------|--------|---------------|
| 3,110,301,689     | 2,915,156,430 | 195,145,259 |        | 3,110,301,689 |

## 2 浜松赤十字病院

### (1) 診療状況の概要

| 病床数       |           | 職員数  |       |       |       | 入院患者数  |          |             | 外来患者数  |          |             |
|-----------|-----------|------|-------|-------|-------|--------|----------|-------------|--------|----------|-------------|
| 許可<br>病床数 | 実働<br>病床数 | 医師   | 看護師   | その他   | 計     | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 |
| 床         | 床         | 人    | 人     | 人     | 人     | 人      | 人        | %           | 人      | 人        | %           |
| 312       | 279       | 65.6 | 240.4 | 160.7 | 466.7 | 84,045 | 230.3    | 98.1        | 86,916 | 359.2    | 103.0       |

### (2) 訪問看護ステーションの状況

| 名称           | 利用者数     | 訪問看護延回数    | 従事者数     | サービス内容                 |
|--------------|----------|------------|----------|------------------------|
| 日赤訪問看護ステーション | 人<br>183 | 回<br>6,558 | 人<br>9.0 | 訪問看護、訪問リハビリ、<br>居宅介護支援 |

### (3) 運営状況

浜松市北部地域の中核病院として地域から求められる急性期医療を担うとともに、地域医療支援病院及び災害拠点病院として関係機関との連携を強化し、市民が安心して暮らせる地域づくりに寄与するために、以下の項目を重点的に推進し病院運営を行った。

#### ア 救急医療及び災害医療の拡充

一般急性期病院及び二次救急医療機関として地域の医師会や他の医療機関との連携を強化しながら、救急医療体制及び機能の充実を図り、7,200人余りの救急患者を受け入れた。特に、浜松市北部地域の最後の砦として「断らない救急」を実践したことにより、直近の5年間で最も多い3,792件の救急搬送を受け入れ、地域医療に貢献した。

また、災害拠点病院として医師会や行政との連携を強化し、浜松市と協定締結をしている病院前救護所の実効性を高めるため、浜松市及びJA静岡厚生連遠州病院と合同で総合防災訓練を開催した。同訓練では「病院前救護所」を実際に設置して、「地域に遍在する医師等の病院前への集約と役割分担」、「負傷者が殺到した場合における迅速な医療救護活動」などについて改めて検証し、浜松市における救護体制の更なる拡充を図った。

#### イ 医師確保と教育の推進

浜松医科大学、藤田医科大学の各医局を訪問するなど、医師が不足している診療科を中心とした派遣要請を積極的に行った結果、令和8年度当初の整形外科医師1人、形成外科医師1人、産婦人科医師1人の増員に繋がった。

基幹型臨床研修病院として、新たな臨床研修医7名を含む13人の研修医に対して地域の医療機関と連携して充実したプログラムによる教育研修を行い、優秀な医師の育成に貢献した。

全職員を対象とした医療安全や感染管理に関する研修の強化を図り、安全で安心な医療体制の構築に努めた。

## ウ 看護師の安定確保と看護の質の向上

看護大学等への訪問や看護実習生の受け入れを積極的に行うとともに、各種リクルートサイトを活用した募集活動を強化した。また、県外の看護大学や看護専門学校への積極的な PR 活動を行い、看護師の安定確保に努めた。

認定看護師や看護師の特定行為研修などの資格取得への支援を行うとともに、教育研修体制を充実させ、看護職員のスキルアップを図るとともに看護の質向上に取り組んだ。

タクスシフト・タスクシェアを推進するため、厚生労働省指定の研修機関として、院内外の看護師を対象とした特定行為研修を3月27日に開講した。

## エ 病院経営の健全化と生産性の向上

人件費や物価高騰が進む中、デジタル技術の活用による業務効率化を進める一方、紹介患者や救急患者の獲得、各種算定件数の増加など、職員が一丸となって収支改善に取り組んだ結果、退職給付引当金決算整理の影響を除いても、1億5千万円余の大幅な黒字決算となった。

療養環境向上に対する患者のニーズに応えるため、個室設備を更新するとともに、有料4床室を各病棟に2室（8床）設置して円滑な稼働に努めた結果、室料差額収益の大幅な増収に繋がった。

診療材料の共同購入や放射線機器の共同保守等を積極的に利用しながら、医業費用の抑制に努めた。また、設備や医療機器の老朽化が進んでいることから、中長期的な修繕や更新計画を策定し、計画的な整備に努めた。

障害者雇用を通じて、誰もが働きやすい職場環境を整備することにより、全職員の生産性の向上に寄与した。

## （４）訪問看護ステーションの運営

地域に根付いた医療を提供するため、ICT 等を利用して多職種間の連携を図った。診療の場やカンファレンス等への積極的な参加により、自施設だけではなく地域の医療機関や介護サービス事業者との連携を深め、総合的な在宅医療サービスの提供に努めた。

## （５）施設等整備

令和8年度開講の看護師特定行為研修機関としてレサシアンシミュレータ、褥瘡シミュレータ、動脈採血シミュレータ等を整備し、受講者を迎え入れる準備を進めた。また、眼科手術顕微鏡、麻酔システム、電動油圧手術台、生体情報モニタ、GHP（健康管理センター事務室系統、仮眠室系統）、自動火災報知設備（受信機、防災表示装置）、電話交換機設備等を整備した。

## (6) 決算概要

### 収益の収入および支出

(単位:円)

| 科目       | 予算現額          |              |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|----------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
|          | 当初予算額         | 補正予算額        | 計             |               |               |
| 病院収益     | 7,656,051,000 | 0            | 7,656,051,000 | 7,694,785,032 | 7,258,712,863 |
| 医業収益     | 7,260,215,000 | 0            | 7,260,215,000 | 7,085,208,691 | 6,829,692,728 |
| 医業外収益    | 322,858,000   | 0            | 322,858,000   | 536,558,913   | 357,358,829   |
| 医療社会事業収益 | 0             | 0            | 0             | 3,327,760     | 2,668,560     |
| 付帯事業収益   | 72,744,000    | 0            | 72,744,000    | 69,526,153    | 68,742,965    |
| 特別利益     | 234,000       | 0            | 234,000       | 163,515       | 249,781       |
| 科目       | 予算現額          |              |               |               | 令和6年度<br>決算額  |
|          | 当初予算額         | 補正予算額        | 流用増減          | 計             |               |
| 病院費用     | 7,693,063,000 | 30,700,000   | 0             | 7,723,763,000 | 6,947,898,822 |
| 医業費用     | 7,484,200,000 | 0            | 0             | 7,484,200,000 | 6,734,024,142 |
| 医業外費用    | 113,305,000   | 24,700,000   | 0             | 138,005,000   | 137,822,822   |
| 医療奉仕費用   | 19,786,000    | 0            | 0             | 19,786,000    | 16,107,165    |
| 付帯事業費用   | 65,057,000    | 0            | 0             | 65,057,000    | 55,369,978    |
| 特別損失     | 50,000        | 6,000,000    | 125,378       | 6,175,378     | 262,878       |
| 法人税等     | 665,000       | 0            | 0             | 665,000       | △ 1,600,663   |
| 予備費      | 10,000,000    | 0            | △ 125,378     | 9,874,622     | 0             |
| 収支差引額    | △ 37,012,000  | △ 30,700,000 | 0             | △ 67,712,000  | 656,381,326   |

### 資本の収入および支出

(単位:円)

| 科目      | 予算現額        |            |             |             | 決算額         | 令和6年度<br>決算額 |
|---------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
|         | 当初予算額       | 補正予算額      | 前年度事業費繰越額   | 計           |             |              |
| 病院収入    | 501,591,000 | 51,062,000 | 0           | 552,653,000 | 516,410,906 | 440,282,173  |
| 固定負債    | 28,304,000  | 13,806,000 | 0           | 42,110,000  | 51,032,000  | 9,269,000    |
| その他資本収入 | 473,287,000 | 37,256,000 | 0           | 510,543,000 | 465,378,906 | 431,013,173  |
| 科目      | 予算現額        |            |             |             | 決算額         | 令和6年度<br>決算額 |
|         | 当初予算額       | 補正予算額      | 前年度繰越事業費充当額 | 計           |             |              |
| 病院費     | 501,591,000 | 51,062,000 | 0           | 552,653,000 | 516,410,906 | 440,282,173  |
| 固定資産    | 143,851,000 | 48,834,000 | 0           | 192,685,000 | 174,071,535 | 99,168,079   |
| 借入金等償還  | 357,740,000 | 2,228,000  | 0           | 359,968,000 | 342,339,371 | 341,114,094  |
| 収支差引額   | 0           | 0          | 0           | 0           | 0           | 0            |

### 利益剰余金

(単位:円)

| 当期末処分利益(損失)A(a+b) | 前期繰越利益(損失) a    | 当期純利益(損失) b | 利益積立金B | 利益剰余金合計(A+B)    |
|-------------------|-----------------|-------------|--------|-----------------|
| △ 7,238,651,620   | △ 7,985,537,830 | 746,886,210 | 0      | △ 7,238,651,620 |

### 3 伊豆赤十字病院

#### (1) 診療状況の概要

| 病床数       |           | 職員数 |      |      |       | 入院患者数  |          |             | 外来患者数  |          |             |
|-----------|-----------|-----|------|------|-------|--------|----------|-------------|--------|----------|-------------|
| 許可<br>病床数 | 実働<br>病床数 | 医師  | 看護師  | その他  | 計     | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 |
| 床         | 床         | 人   | 人    | 人    | 人     | 人      | 人        | %           | 人      | 人        | %           |
| 84        | 84        | 8.9 | 58.4 | 73.8 | 141.1 | 20,961 | 57.4     | 97.5        | 40,140 | 165.9    | 95.4        |

#### (2) 付帯施設の概要

##### ア 介護医療院の概要

| 職員数    |        |        | 利用者数             |        |         |        |
|--------|--------|--------|------------------|--------|---------|--------|
| 看護師    | その他    | 計      | 入所<br>介護医療院 96 人 |        |         | サービス内容 |
|        |        |        | 延数               | 1日平均   | 1日平均前年比 |        |
| 16.8 人 | 28.8 人 | 45.6 人 | 31,340 人         | 85.9 人 | 102.1 % | 入所療養   |

##### イ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の概要

| 利用者数           |        |             |               |       |         |                     |
|----------------|--------|-------------|---------------|-------|---------|---------------------|
| 通い（18 人） 317 日 |        |             | 泊り（9 人） 251 日 |       |         | サービス内容              |
| 延数             | 1日平均   | 1日平均<br>前年比 | 延数            | 1日平均  | 1日平均前年比 |                     |
| 4,019 人        | 12.7 人 | 105.8 %     | 1,946 人       | 7.8 人 | 127.9 % | 通い、泊まり<br>訪問介護、訪問看護 |

##### ウ 訪問看護ステーションの概要

| 名称                 | 利用者数    | 訪問看護延回数 | 従事者数  | サービス内容      |
|--------------------|---------|---------|-------|-------------|
| 訪問看護ステーション<br>伊豆日赤 | 1,207 人 | 5,362 回 | 8.2 人 | 訪問看護、訪問リハビリ |

#### (3) 運営状況

当院は、伊豆市において内科領域の疾患を中心に、急性期から慢性期に至るまで幅広い医療を提供する二次救急病院である。

人工透析をはじめ、入院・外来医療の充実を図るとともに、各種介護サービスを併せ持つケアミックス型医療機関として、地域医療に貢献している。

また、高齢化が進む地域のニーズに応えるべく、在宅医療（訪問診療・訪問看護）にも積極的に取り組み、切れ目のない医療・介護の提供を推進している。

##### ア 医師確保による診療体制の充実

医師確保については、県から内科医師派遣により4人を確保するとともに、横浜みなと赤十字病院および静岡県立総合病院から専攻医を受け入れた。さらに、延べ13人の研修医を受け入れることで、内科領域疾患に対する診療体制の充実を図ることができた。

加えて、地域医療連携推進法人に参加していることにより、各科外来医師ならびに当直医師を確保し、外来診療体制の強化を図るとともに、二次救急病院として地域の医療ニーズに対応した。

## イ 小児科外来の確保

伊豆市の「子育て全力宣言」を支える取り組みの一環として、地域における小児医療体制の弱体化に対応するため、非常勤小児科医師を確保した。これにより、夜間時間外診療および早朝時間外診療の体制を整備し、地域の小児医療の維持・充実に努めた。その結果、小児科の延患者数は前年度比102.8%となった。

## ウ 看護師確保と看護の質の向上

看護師確保については、将来看護師を目指す学生を対象に、伊豆地域の高等学校への訪問活動を実施したほか、奨学金制度を利用し、新卒看護師4人を確保することができた。

また、e-ラーニングを活用することで研修を受講しやすいできる環境を整備するとともに、経験年数や階層別に応じた知識・技術の向上を目的とした研修および教育を実施し、看護師の能力開発を図ることで、患者に対する質の高い看護の提供に努めた。

## エ 安心・安全な医療の提供と救護訓練の実施

感染防止対策および医療安全対策として、全職員を対象とした院内研修を実施するとともに、院内ラウンドおよび順天堂大学静岡病院によるラウンドを実施し、安心・安全な医療の提供に取り組んだ。

また、本年度は伊豆市および医師会等と合同で総合防災訓練を実施したほか、静岡県支部・伊豆赤十字病院合同災害救護訓練を実施して、職員ならびに救護班要員の資質向上に努めた。

# (4) 付帯事業施設の運営

## ア 介護医療院

地域における長期療養が必要な高齢者を対象に、医療と介護を包括的且つ一体的に提供した。日常的な医学管理や看取り、リハビリテーションおよび生活支援を実施し、利用者の尊厳を重視した自立支援に取り組んだ。あわせて、医療・介護ニーズの増加に対応し、地域における安心した生活環境の構築に寄与した。

## イ 看護小規模多機能型居宅介護事業所（レクロス小立野）

高齢者が住み慣れた地域において、最期まで自分らしい生活を送ることができるよう、通い・泊り・訪問介護・訪問看護の各サービスを組み合わせた包括的な支援を実施した。利用者の状態や家族の意向に応じた柔軟なサービス提供を行い、安心感のある介護・看護の実現に努めた。

## ウ 訪問看護ステーション（訪問看護ステーション伊豆日赤）

地域の高齢者および障害者が住み慣れた自宅で安心して療養生活が送れるよう、看護師ならびにリハビリテーション専門職による定期的な訪問を実施し、医療的ケアおよび機能維持・改善を目的としたリハビリ支援を提供した。さらに、地域の医療機関および介護事業所と連携・協働し在宅療養を包括的に支える体制づくりを推進した。

## （５）決算概要

### 収益的收入および支出

（単位：円）

| 科 目      | 予算現額          |           |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|----------|---------------|-----------|---------------|---------------|---------------|
|          | 当初予算額         | 補正予算額     | 計             |               |               |
| 病院収益     | 2,248,708,000 | 0         | 2,248,708,000 | 2,222,266,688 | 2,274,139,501 |
| 医業収益     | 1,423,141,000 | 0         | 1,423,141,000 | 1,393,438,719 | 1,446,488,326 |
| 医業外収益    | 200,671,000   | 0         | 200,671,000   | 220,806,531   | 246,552,890   |
| 医療社会事業収益 | 1,990,000     | 0         | 1,990,000     | 2,185,734     | 4,126,048     |
| 付帯事業収益   | 622,906,000   | 0         | 622,906,000   | 605,831,410   | 576,962,400   |
| 特別利益     | 0             | 0         | 0             | 4,294         | 9,837         |
| 科 目      | 予算現額          |           |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|          | 当初予算額         | 補正予算額     | 計             |               |               |
| 病院費用     | 2,215,991,000 | 800,000   | 2,216,791,000 | 2,097,987,433 | 1,923,856,663 |
| 医業費用     | 1,588,903,000 | 0         | 1,588,903,000 | 1,515,564,326 | 1,417,522,712 |
| 医業外費用    | 14,187,000    | 800,000   | 19,987,000    | 19,956,285    | 14,597,497    |
| 医療奉仕費用   | 4,480,000     | 0         | 4,480,000     | 3,090,284     | 4,530,783     |
| 付帯事業費用   | 598,721,000   | 0         | 598,721,000   | 559,151,581   | 485,835,427   |
| 特別損失     | 4,000,000     | 0         | 4,000,000     | 222,486       | 122,740       |
| 法人税等     | 700,000       | 0         | 700,000       | 2,471         | 1,247,504     |
| 予備費      | 5,000,000     | 0         | △ 5,000,000   | 0             | 0             |
| 収支差引額    | 32,717,000    | △ 800,000 | 31,917,000    | 124,279,255   | 350,282,838   |

### 資本的收入および支出

（単位：円）

| 科 目     | 予算現額        |            |             | 決算額         | 令和6年度<br>決算額 |
|---------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|
|         | 当初予算額       | 補正予算額      | 前年度繰越事業費充当額 |             |              |
| 病院収入    | 240,224,000 | 40,160,000 | 0           | 118,606,269 | 102,859,224  |
| 固定負債    | 49,833,000  | 17,288,000 | 0           | 40,427,498  | 38,360,400   |
| その他資本収入 | 190,391,000 | 22,872,000 | 0           | 78,178,771  | 64,498,824   |
| 科 目     | 予算現額        |            |             | 決算額         | 令和6年度<br>決算額 |
|         | 当初予算額       | 補正予算額      | 前年度事業繰越額    |             |              |
| 病院費     | 240,224,000 | 40,160,000 | 0           | 118,606,269 | 102,859,224  |
| 固定資産    | 100,473,000 | 40,160,000 | 0           | 81,856,268  | 65,137,007   |
| 借入金等償還  | 139,751,000 | 0          | 0           | 36,750,001  | 37,722,217   |
| 収支差引額   | 0           | 0          | 0           | 0           | 0            |

### 利益剰余金

（単位：円）

| 当期末処分利益(損失)A(a+b) | 前期繰越利益(損失) a  | 当期純利益(損失) b | 利益積立金B | 利益剰余金合計(A+B)  |
|-------------------|---------------|-------------|--------|---------------|
| △ 469,674,149     | △ 593,953,404 | 124,279,255 | 0      | △ 469,674,149 |

## 4 裾野赤十字病院

### (1) 診療状況の概要

| 病床数       |           | 職員数 |      |      |       | 入院患者数  |          |             | 外来患者数  |          |             |
|-----------|-----------|-----|------|------|-------|--------|----------|-------------|--------|----------|-------------|
| 許可<br>病床数 | 実働<br>病床数 | 医師  | 看護師  | その他  | 計     | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 | 延数     | 1日<br>平均 | 1日平均<br>前年比 |
| 床         | 床         | 人   | 人    | 人    | 人     | 人      | 人        | %           | 人      | 人        | %           |
| 104       | 104       | 7.3 | 49.1 | 45.9 | 102.3 | 28,424 | 77.9     | 102.2       | 21,708 | 81.3     | 92.4        |

### (2) 訪問看護ステーションの状況

| 名称                  | 利用者数    | 訪問看護延回数    | 従事者数   | サービス内容 |
|---------------------|---------|------------|--------|--------|
| 訪問看護ステーション<br>すその日赤 | 人<br>76 | 回<br>3,395 | 人<br>3 | 訪問看護   |

### (3) 運営状況

当院は、裾野市唯一の二次救急病院であり、第二種感染症指定医療機関である。

本年度の運営状況については、入院患者確保に努めた結果、入院患者延数は前年度比 2.1% 増となったものの診療単価の減少により入院診療収益は前年度比 1.5% 減となった。

外来診療においては外科非常勤医師 1 名退職による診療枠の減少等もあり、外来患者延数は前年度比 8.3% 減、外来診療収益は前年度比 11.8% の減となった。

#### ア 入院体制の充実

高齢者を中心とした地域医療のニーズに応えられる体制を図るため、限られた人的医療資源を集中させた。同時に効率的な病床稼働を実現するために、多職種が連携してベッドコントロールを行った。また在宅医療推進のため訪問診療の回数を増やすと共に、在宅療養支援病院として、更なる体制強化に努めた。

#### イ 地域医療連携の充実

高次医療機関や地域の開業医との積極的な連携構築に努め、入院の紹介・受け入れ相談・退院支援の推進を図る為に、地域医療連携の充実に努めた。

令和 7 年 6 月より近隣歯科医院と連携し、歯科医師等の派遣支援による口腔ケアサポートを開始した。入院患者の口腔管理について専門的な立場から指導・助言をいただくことにより嚥下機能の向上や口腔衛生の改善に努めた。

令和 7 年 8 月より地域の更なる医療需要にこたえる為訪問リハビリステーションを開設した。

## ウ 医療安全体制の充実強化

ICT（感染対策チーム）と医療安全管理者等による院内巡視を行い、医療安全管理体制の充実強化を図った。

## エ 常勤医師の確保

通常の当直業務の他、輪番制の救急対応等、地域の求める診療体制を維持するためには、安定的な医師の確保が必要である。

昨年度に続き医師紹介会社からの情報の収集、病院ホームページに医師募集サイトの掲載を継続しているが、常勤医の増員には至っていない。令和8年3月の常勤医師数は5人（内科3人、外科1人、整形外科1人）となった。

## オ 看護師等の確保

看護師等の採用については施設基準をクリアする為の必要最低限な人数を確保することが必須であるが、応募者が少なく確保に困難な状態が続いた。夜勤可能なフルタイム勤務可能な職員の確保は依然厳しい状況である。

## カ 経営改善

令和6年9月10日をもって本部管理病院の指定が解除され新たにグループ支援病院の指定となった。本年度の経常収支は昨年度に引き続き黒字となり、令和2年度から6年連続での黒字収支を達成している。今後はグループ支援病院の指定が解除されるようより一層の経営改善に努めていく。

## （４）訪問看護ステーションの運営

本年度は前年度と比較して訪問看護延回数は26.5%増と大きく増加した。病棟カンファレンスへの積極的な参加や地域ケアマネージャーとの連携強化などの努力が実を結び新規利用者の獲得につながっている。また、在宅での看取りの患者、ターミナル患者の増加、週2～3回訪問患者の増加などが重なり大幅な訪問件数の増加につながった。

## （５）施設等整備

設備関係では、設備の老朽化に伴う空調設備の更新整備を行った。

裾野市の補助金により、手術台、无影灯、グリコヘモグロビン測定装置等を整備した。

## (6) 決算概要

### 収益の収入および支出

(単位:円)

| 科 目      | 予算現額          |             |               | 決算額           | 令和6年度<br>決算額  |
|----------|---------------|-------------|---------------|---------------|---------------|
|          | 当初予算額         | 補正予算額       | 計             |               |               |
| 病院収益     | 1,479,380,000 | 0           | 1,479,380,000 | 1,409,880,297 | 1,462,345,821 |
| 医業収益     | 1,315,975,000 | 0           | 1,315,975,000 | 1,241,243,936 | 1,285,162,712 |
| 医業外収益    | 140,788,000   | 0           | 140,788,000   | 141,339,263   | 154,102,167   |
| 医療社会事業収益 | 2,558,000     | 0           | 2,558,000     | 2,562,887     | 2,774,019     |
| 付帯事業収益   | 20,059,000    | 0           | 20,059,000    | 24,734,211    | 20,296,428    |
| 特別利益     | 0             | 0           | 0             | 0             | 10,495        |
| 科 目      | 予算現額          |             |               |               | 令和6年度<br>決算額  |
|          | 当初予算額         | 補正予算額       | 流用増減          | 計             |               |
| 病院費用     | 1,454,686,000 | 1,500,000   | 0             | 1,456,186,000 | 1,276,272,748 |
| 医業費用     | 1,418,336,000 | 0           | 0             | 1,418,336,000 | 1,244,065,958 |
| 医業外費用    | 3,874,000     | 1,000,000   | 0             | 4,874,000     | 3,930,545     |
| 医療奉仕費用   | 410,000       | 500,000     | 0             | 910,000       | 538,872       |
| 付帯事業費用   | 30,066,000    | 0           | 0             | 30,066,000    | 27,733,810    |
| 特別損失     | 2,000,000     | 0           | 0             | 2,000,000     | 3,563         |
| 法人税等     | 0             | 0           | 0             | 0             | 0             |
| 予備費      | 0             | 0           | 0             | 0             | 0             |
| 収支差引額    | 24,694,000    | △ 1,500,000 | 0             | 23,194,000    | 133,607,549   |

### 資本的収入および支出

(単位:円)

| 科 目     | 予算現額       |       |             |            | 決算額        | 令和6年度<br>決算額 |
|---------|------------|-------|-------------|------------|------------|--------------|
|         | 当初予算額      | 補正予算額 | 前年度事業費繰越額   | 計          |            |              |
| 病院収入    | 69,823,000 | 0     | 0           | 69,823,000 | 47,856,197 | 40,773,317   |
| 固定負債    | 17,100,000 | 0     | 0           | 17,100,000 | 24,959,425 | 18,494,100   |
| その他資本収入 | 52,723,000 | 0     | 0           | 52,723,000 | 22,896,772 | 22,279,217   |
| 科 目     | 予算現額       |       |             |            | 決算額        | 令和6年度<br>決算額 |
|         | 当初予算額      | 補正予算額 | 前年度繰越事業費充当額 | 計          |            |              |
| 病院費     | 69,823,000 | 0     | 0           | 69,823,000 | 47,856,197 | 40,773,317   |
| 固定資産    | 41,909,000 | 0     | 0           | 41,909,000 | 36,262,910 | 29,180,030   |
| 借入金等償還  | 27,914,000 | 0     | 0           | 27,914,000 | 11,593,287 | 11,593,287   |
| 収支差引額   | 0          | 0     | 0           | 0          | 0          | 0            |

### 利益剰余金

(単位:円)

| 当期末処分利益(損失)A(a+b) | 前期繰越利益(損失) a | 当期純利益(損失) b | 利益積立金B | 利益剰余金合計(A+B) |
|-------------------|--------------|-------------|--------|--------------|
| 187,356,636       | 53,749,087   | 133,607,549 | 0      | 187,356,636  |

### Ⅲ 血液事業概要

#### 静岡県赤十字血液センター

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し約2年が経過し、県内の社会経済活動も活発になったことで、企業献血や学校献血の再開が本格的になった。若年層対策として、高校、大学の校内献血を積極的に実施するとともに、学生献血ボランティアの募集・育成、献血セミナーの開催などを通じて、引き続き献血啓発に努めた。また、様々なイベント等へ参加し、献血可能年齢に達していない子どもたちへ献血に触れてもらう機会を作り、未来の献血者として普及啓発を行った。

令和4年9月に導入された献血カードアプリのサービス開始から3年が経過し、アプリの利用推進に取り組んだことで、年度末には予約率は64.8%となった。また、令和8年1月5日をもって、従来の献血カードの発行および更新は終了し、アプリへの一本化が図られた。

必要献血者数 129,748 人\*1 に対する実績は、100.8%の 130,729 人を確保する結果となった。

輸血用血液製剤の供給数は昨年度と比べ血漿製剤は増加、血小板製剤は昨年と同程度であった。県内総供給は 448,140 単位で対前年比 99.8%となった。輸血用血液製剤の需要動向を注視し、県内の血液型別在庫状況を把握・管理を徹底するとともに、東海北陸ブロック血液センターと連携して的確な需要予測を行うことで輸血用血液製剤の安定供給と有効活用に努めた。

血液事業本部より示された「Toward2045 変わるぞ、血液事業」のスローガンのもと、将来にわたり必要な血液量を確保するための5ヵ年目標(2030年)達成に向けた取り組み(①「10代～40代の新たな献血者を増やす」②「献血者をつなぎとめる」③「年間2回以上献血を行う献血者を増やす」)を取り進め、将来に向けた献血協力基盤を構築する。

#### (1) 献血及び供給状況の推移

| 年度    | 献血状況     |          | 供給状況     |          |
|-------|----------|----------|----------|----------|
|       | 献血者数 (人) | 対前年比 (%) | 供給数 (単位) | 対前年比 (%) |
| 令和元年度 | 127,327  | 103.0    | 452,881  | 105.4    |
| 令和2年度 | 131,251  | 103.1    | 435,333  | 96.1     |
| 令和3年度 | 134,550  | 102.5    | 428,493  | 98.4     |
| 令和4年度 | 131,274  | 97.6     | 429,343  | 100.2    |
| 令和5年度 | 130,568  | 99.5     | 447,360  | 104.2    |
| 令和6年度 | 128,405  | 98.3     | 449,251  | 100.4    |
| 令和7年度 | 130,729  | 101.8    | 448,140  | 99.8     |

## (2) 献血者数及び献血率

| 職員数<br>(医師)<br>R8.3.31 現在 | 献血可能<br>人口<br>R6.10 現在 | 上段：必要献血者数（事業計画）(人) |        |        |         | 達成率   | 献血率 | 対前年比<br>献血者数 |
|---------------------------|------------------------|--------------------|--------|--------|---------|-------|-----|--------------|
|                           |                        | 下段：献血者数(人)         |        |        |         |       |     |              |
|                           |                        | 200mL              | 400mL  | 成 分    | 合 計     |       |     |              |
| 静岡センター<br>83(1)           | 688,321                | 490                | 29,392 | 13,016 | 42,898  | 96.6  | 6.0 | 101.5        |
|                           |                        | 1,690              | 28,028 | 11,737 | 41,455  |       |     |              |
| 沼津事業所<br>67(0)            | 692,137                | 472                | 29,735 | 13,013 | 43,220  | 103.7 | 6.5 | 100.7        |
|                           |                        | 1,606              | 30,198 | 13,018 | 44,822  |       |     |              |
| 浜松事業所<br>60(0)            | 810,148                | 503                | 30,112 | 13,015 | 43,630  | 101.9 | 5.5 | 103.3        |
|                           |                        | 2,043              | 30,037 | 12,372 | 44,452  |       |     |              |
| 合 計<br>210(1) *2          | 2,190,606              | 1,465              | 89,239 | 39,044 | 129,748 | 100.8 | 6.0 | 101.8        |
|                           |                        | 5,339              | 88,263 | 37,127 | 130,729 |       |     |              |

\*1 必要献血者数（129,748 人）

ブロック内の需給見込みから割り当てられた静岡県での採血必要人数。

\*2 嘱託・パート等含む実数

## (3) 供給単位数及び内訳

| 静岡県内への供給本数 |              |          |            |            |            |            |            |            |            |
|------------|--------------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 区分<br>施設名  | 総供給数<br>(単位) | 全血<br>製剤 | 構成比<br>(%) | 赤血球<br>製 剤 | 構成比<br>(%) | 血 漿<br>製 剤 | 構成比<br>(%) | 血小板<br>製 剤 | 構成比<br>(%) |
| 静岡センター     | 171,266      | 0        | —          | 62,438     | 36.5       | 22,823     | 13.3       | 86,005     | 50.2       |
| 沼津事業所      | 144,203      | 0        | —          | 58,623     | 40.7       | 15,950     | 11.1       | 69,630     | 48.3       |
| 浜松事業所      | 132,671      | 0        | —          | 52,374     | 39.5       | 14,797     | 11.2       | 65,500     | 49.4       |
| 合 計        | 448,140      | 0        | —          | 173,435    | 38.7       | 53,570     | 12.0       | 221,135    | 49.3       |

※「構成比」は端数処理しているため、合計が必ずしも 100%にはならない。

## (4) 献血推進運動

### ア 愛の血液助け合い運動

7 月 1 日から 31 日まで、国・都道府県・日本赤十字社の主催で多数の後援団体、協賛団体の協力を得て全国一斉に「愛の血液助け合い運動」を行った。

静岡県内における「愛の血液助け合い運動」では、ポスターを各市町、事業所等関係機関に配布し、啓発に努めた。

## イ 全国学生献血キャンペーン

学生献血ボランティアが、7月と8月に「東海北陸ブロック統一学生サマー献血キャンペーン」、12月に「全国学生クリスマス献血キャンペーン」を静岡市、富士宮市、浜松市において開催した。献血が不足する時期のキャンペーンは効果的であり、大学生たちが同年代の若者に献血への理解と協力を呼びかけた。

## ウ はたちの献血キャンペーン

1月1日から2月28日まで、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本コミュニティ放送協会及び一般社団法人日本民営鉄道協会の協力を得て実施した。

また、CMについては昨年度の続編として制作し、キャラクターデザインおよびアニメーションについても、昨年に引き続きSNSで人気のイラストレーター「浦浦 浦ちゃん」を起用した。これにより、若年層に対して献血の知識や重要性を訴求するとともに、キャンペーンの周知を幅広く行った。

## エ その他の事業

静岡県から「献血思想定着推進事業」を委託され、学生ボランティアの育成や支援などを実施した。学内献血未実施の高校13校を戸別訪問し「献血セミナー」の積極的な開催と「学内献血」の実施を依頼した結果、校内での呼びかけ強化や献血再開に向けて検討いただくこととなった。

なお、戸別訪問の結果、うち1校で10年以上ぶりに献血を再開することとなり、令和8年度以降も協力いただけることとなった。

## オ 第61回献血運動推進全国大会

7月16日、宮城県の仙台サンプラザホールにおいて、献血運動推進全国大会（主催：厚生労働省・宮城県・日本赤十字社）が開催された。

## カ 静岡県献血推進大会

7月30日にグランシップ静岡において開催された。県民に献血への一層の協力を呼び掛けるとともに、日頃から献血推進に積極的に協力し貢献した団体に、厚生労働大臣表彰状および感謝状、静岡県知事褒章、日本赤十字社有功章、日本赤十字社静岡県支部長感謝状の贈呈が行われた。また、静岡県立こども病院輸血管理室長の川口晃司医師より、小児がん治療と輸血療法の現状について、講演いただいた。

### 表彰団体数及び表彰者数

|                      |          |          |
|----------------------|----------|----------|
| ◆厚生労働大臣表彰状           | 3団体      |          |
| ◆厚生労働大臣感謝状           | 8団体      |          |
| ◆静岡県知事褒賞             | 9団体      |          |
| ◆日本赤十字社金色有功章         | 〈個人〉196人 | 〈団体〉15団体 |
| ◆日本赤十字社銀色有功章         | 〈個人〉318人 | 〈団体〉15団体 |
| ◆日本赤十字社静岡県支部長感謝状（金枠） | 15団体     |          |
| ◆日本赤十字社静岡県支部長感謝状（銀枠） | 15団体     |          |

## （５）骨髄ドナー登録事業

---

骨髄バンク事業は、「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づく骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者としての日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社と都道府県等の協力により行われ、血液センターは骨髄提供希望者に対する登録受付及び登録データ管理業務を実施した。

本年度も静岡県及び骨髄バンクを推進する会と協力することにより、404 人の登録者を確保した。

### 登録者数

|                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| ◆令和 8 年 3 月末現在 | 8,998 人（静岡県内）<br>564,145 人（全国） |
|----------------|--------------------------------|

## Ⅳ 資料

### 1 静岡県支部役職員名簿・奉仕者組織役員名簿

#### <役員>

| 役 名     | 氏 名     | 公 職               |
|---------|---------|-------------------|
| 支 部 長   | 鈴 木 康 友 | 静岡県知事             |
| 副 支 部 長 | 菊 地 豊   | 伊豆市長              |
| //      | 星 野 淨 晋 | 西伊豆町長             |
| //      | 青 山 秀 徳 | 静岡県健康福祉部長         |
| 監 査 委 員 | 鈴 木 雅 春 | 元 静岡県監査委員事務局長     |
| //      | 須 山 宏 造 | 須山建設株式会社代表取締役会長   |
| //      | 足 羽 由美子 | 足羽会計事務所所長         |
| 理 事     | 菊 地 豊   | 伊豆市長              |
| 代 議 員   | 菊 地 豊   | 伊豆市長              |
| //      | 星 野 淨 晋 | 西伊豆町長             |
| //      | 中 村 直 保 | 静岡市自治会連合会会長       |
| //      | 廣 野 篤 男 | 浜松市自治会連合会会長       |
| //      | 小 木 絹 代 | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会委員長 |
| //      | 望 月 律 子 | 静岡県赤十字看護奉仕団委員長    |
| //      | 鈴 木 雅 春 | 元 静岡県監査委員事務局長     |

#### <評議員>

| 氏 名     | 職 業 及 び 公 職       | 地 区<br>支部長 | 選出別 | 備 考   |
|---------|-------------------|------------|-----|-------|
| 難 波 喬 司 | 静岡市長              | 静 岡 市      | 選 出 |       |
| 中 村 直 保 | 静岡市自治会連合会会長（駿河区）  | 静 岡 市      | //  | 本社代議員 |
| 隅 倉 正 員 | 静岡市自治会連合会副会長（清水区） | 静 岡 市      | //  |       |
| 中 野 祐 介 | 浜松市長              | 浜 松 市      | //  |       |
| 廣 野 篤 男 | 浜松市自治会連合会会長       | 浜 松 市      | //  | 本社代議員 |
| 加 藤 君 子 | 浜松市天竜赤十字奉仕団委員長    | 浜 松 市      | //  |       |
| 頼 重 秀 一 | 沼津市長              | 沼 津 市      | //  |       |
| 真 野 由里子 | 沼津市赤十字奉仕団委員長      | 沼 津 市      | //  |       |
| 金 指 祐 樹 | 富士市長              | 富 士 市      | //  |       |
| 秋 山 珠 美 | 富士市赤十字奉仕団委員長      | 富 士 市      | //  |       |
| 齊 藤 栄   | 熱海市長              | 熱 海 市      | //  |       |
| 豊 岡 武 士 | 三島市長              | 三 島 市      | //  |       |
| 須 藤 秀 忠 | 富士宮市長             | 富 士 宮 市    | //  |       |

| 氏 名     | 職 業 及 び 公 職       | 地 区<br>支部長 | 選出別 | 備 考            |
|---------|-------------------|------------|-----|----------------|
| 杉 本 憲 也 | 伊東市長              | 伊 東 市      | //  |                |
| 染 谷 絹 代 | 島田市長              | 島 田 市      | //  |                |
| 草 地 博 昭 | 磐田市長              | 磐 田 市      | //  |                |
| 中 野 弘 道 | 焼津市長              | 焼 津 市      | //  |                |
| 久 保 田 崇 | 掛川市長              | 掛 川 市      | //  |                |
| 北 村 正 平 | 藤枝市長              | 藤 枝 市      | //  |                |
| 勝 又 正 美 | 御殿場市長             | 御殿場市       | //  |                |
| 大 場 規 之 | 袋井市長              | 袋 井 市      | //  |                |
| 松 木 正一郎 | 下田市長              | 下 田 市      | //  |                |
| 村 田 悠   | 裾野市長              | 裾 野 市      | //  |                |
| 田 内 浩 之 | 湖西市長              | 湖 西 市      | //  |                |
| 菊 地 豊   | 伊豆市長              | 伊 豆 市      | //  | 副支部長／<br>本社代議員 |
| 下 村 勝   | 御前崎市長             | 御前崎市       | //  |                |
| 長谷川 寛 彦 | 菊川市長              | 菊 川 市      | //  |                |
| 山 下 正 行 | 伊豆の国市長            | 伊豆の国市      | //  |                |
| 杉 本 基久雄 | 牧之原市長             | 牧之原市       | //  |                |
| 岩 井 茂 樹 | 東伊豆町長             | 賀 茂 郡      | //  |                |
| 仁 科 喜世志 | 函南町長              | 田 方 郡      | //  |                |
| 池 田 修   | 長泉町長              | 駿 東 郡      | //  |                |
| 田 村 典 彦 | 吉田町長              | 榛 原 郡      | //  |                |
| 太 田 康 雄 | 森町長               | 周 智 郡      | //  |                |
| 小 野 富 雄 | 日本赤十字社静岡県有功会副会長   | 支 部 長 選 出  |     |                |
| 小 木 絹 代 | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会委員長 | //         |     | 本社代議員          |
| 望 月 律 子 | 静岡県赤十字看護奉仕団委員長    | //         |     | 本社代議員          |
| 夏 目 伸 二 | 静岡県青少年赤十字指導者協議会会長 | //         |     |                |
| 柴 田 久   | (福) 静岡県共同募金会会長    | //         |     |                |
| 山 本 たつ子 | (福) 静岡県社会福祉協議会会長  | //         |     |                |
| 溝 口 将 人 | (株)静岡新聞社取締役経営戦略局長 | //         |     |                |
| ( 欠 員 ) |                   | //         |     |                |

(任期：令和7年2月14日～令和10年2月13日)

<赤十字奉仕団静岡県支部委員会役員>

| 役 名   | 氏 名     | 奉 仕 団 及 び 役 名                        |
|-------|---------|--------------------------------------|
| 委 員 長 | 小 木 絹 代 | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会委員長<br>浜松市浜北赤十字奉仕団委員長  |
| 副委員長  | 加 藤 君 子 | 静岡県地域赤十字奉仕団委員会副委員長<br>浜松市天竜赤十字奉仕団委員長 |
| //    | 松 永 博   | 静岡県無線赤十字奉仕団委員長                       |
| //    | 菅 沼 博 明 | 静岡県赤十字水上安全奉仕団委員長                     |

(任期：令和7年5月22日～令和9年5月21日)

<日本赤十字社静岡県支部協賛委員会役員>

| 役 名 | 氏 名     | 市 町 及 び 役 名       |
|-----|---------|-------------------|
| 会 長 | 中 村 直 保 | 静岡市 静岡県自治会連合会 会長  |
| 副会長 | 内 田 新 一 | 三島市 静岡県自治会連合会 副会長 |
| //  | 彦 坂 昇   | 湖西市 静岡県自治会連合会 副会長 |
| //  | 村 松 朝 代 | 焼津市 地域奉仕団前委員長     |

(任期：令和7年6月27日～令和9年6月26日)

<日本赤十字社静岡県有功会役員>

| 役 名 | 氏 名     | 支 会 及 び 役 名          |
|-----|---------|----------------------|
| 会 長 | 山 本 良 一 | 日本赤十字社静岡県有功会三島市支会長   |
| 副会長 | 池 谷 滋 雄 | 日本赤十字社静岡県有功会富士宮市支会長  |
| //  | 小 野 富 雄 | 日本赤十字社静岡県有功会伊豆の国市支会長 |
| //  | 平 井 敏 晃 | 日本赤十字社静岡県有功会静岡市支会長   |

(任期：令和7年5月30日～令和9年5月29日)

＜地域赤十字奉仕団結成状況＞

| 奉仕団名 |          | 委員長    | 団員数 |       |       |
|------|----------|--------|-----|-------|-------|
|      |          |        | 男   | 女     | 計     |
| 1    | 下田市      | 野田 祥子  | 10  | 28    | 38    |
| 2    | 伊東市      | 吉岡 マサエ | 0   | 270   | 270   |
| 3    | 熱海市      | 大竹 順子  | 11  | 167   | 178   |
| 4    | 伊豆市      | 根本 壽美子 | 2   | 88    | 90    |
| 5    | 伊豆の国市    | 大谷 郁子  | 0   | 177   | 177   |
| 6    | 三島市      | 山下 十三代 | 2   | 37    | 39    |
| 7    | 沼津市      | 真野 由里子 | 2   | 120   | 122   |
| 8    | 裾野市      | 杉山 辰江  | 0   | 244   | 244   |
| 9    | 御殿場市     | 江藤 光恵  | 0   | 50    | 50    |
| 10   | 富士宮市     | 渡井 淨美  | 9   | 15    | 24    |
| 11   | 富士市      | 秋山 珠美  | 3   | 27    | 30    |
| 12   | 静岡市清水区   | 加藤 智代  | 7   | 48    | 55    |
| 13   | 静岡市葵・駿河区 | 水谷 倫子  | 10  | 380   | 390   |
| 14   | 焼津市焼津    | 山本 道子  | 0   | 42    | 42    |
| 15   | 焼津市大井川   | 村田 和弘  | 4   | 69    | 73    |
| 16   | 藤枝市藤枝    | 菊川 厚代  | 16  | 45    | 61    |
| 17   | 藤枝市岡部    | 安藤 恵美子 | 0   | 104   | 104   |
| 18   | 島田市      | 福代 百合子 | 0   | 126   | 126   |
| 19   | 牧之原市     | 八木 公代  | 11  | 319   | 330   |
| 20   | 御前崎市     | 村松 幸子  | 0   | 272   | 272   |
| 21   | 菊川市      | 村松 豊子  | 1   | 53    | 54    |
| 22   | 掛川市      | 佐京 悟   | 3   | 269   | 272   |
| 23   | 袋井市      | 欠      | 1   | 45    | 46    |
| 24   | 磐田市      | 川島 厚枝  | 1   | 45    | 46    |
| 25   | 浜松市雄踏    | 中村 早苗  | 0   | 25    | 25    |
| 26   | 浜松市引佐    | 森下 友子  | 0   | 5     | 5     |
| 27   | 浜松市三ヶ日   | 清水 薫里  | 0   | 37    | 37    |
| 28   | 浜松市浜北    | 小木 絹代  | 2   | 36    | 38    |
| 29   | 浜松市天竜    | 加藤 君子  | 9   | 152   | 161   |
| 30   | 浜松市春野    | 高橋 宜子  | 0   | 24    | 24    |
| 31   | 浜松市佐久間   | 平賀 むつみ | 0   | 44    | 44    |
| 32   | 湖西市      | 山口 萬知子 | 0   | 52    | 52    |
| 33   | 松崎町      | 菊池 弘子  | 0   | 22    | 22    |
| 34   | 函南町      | 泉明寺 葉子 | 0   | 86    | 86    |
| 35   | 清水町      | 関 美千子  | 0   | 18    | 18    |
| 36   | 長泉町      | 渡邊 靖子  | 14  | 93    | 107   |
| 37   | 小山町      | 鈴木 昌代  | 0   | 31    | 31    |
| 38   | 吉田町      | 塚本 里子  | 0   | 93    | 93    |
| 39   | 川根本町     | 小野田由樹子 | 0   | 95    | 95    |
| 計    |          |        | 118 | 3,853 | 3,971 |

<県支部・施設 幹部職員>

| 施 設 名                   | 職 名         | 氏 名     |
|-------------------------|-------------|---------|
| 日 本 赤 十 字 社 静 岡 県 支 部   | 事 務 局 長     | 京 極 仁 志 |
|                         | 事 務 局 次 長   | 落 合 肇   |
|                         | 総 務 課 長（兼）  | 落 合 肇   |
|                         | 組 織 振 興 課 長 | 橋 本 茂 昭 |
|                         | 事 業 推 進 課 長 | 北 川 和 道 |
| 静 岡 赤 十 字 病 院           | 院 長         | 小 川 潤   |
|                         | 副 院 長       | 久保田 英 司 |
|                         | 副 院 長       | 市 川 義 一 |
|                         | 事 務 部 長     | 田 中 伸 弘 |
|                         | 看 護 部 長     | 下 山 美 穂 |
| 浜 松 赤 十 字 病 院           | 院 長         | 俵 原 敬   |
|                         | 副 院 長       | 荻 原 弘 晃 |
|                         | 副 院 長       | 竹 内 亮 輔 |
|                         | 事 務 部 長     | 鈴 木 史 朗 |
|                         | 看 護 部 長     | 近 森 清 美 |
| 伊 豆 赤 十 字 病 院           | 院 長         | 吉 田 剛   |
|                         | 事 務 部 長     | 板 垣 孝 博 |
|                         | 看 護 部 長     | 城 所 志津江 |
| 裾 野 赤 十 字 病 院           | 院 長         | 芦 川 和 広 |
|                         | 事 務 部 長     | 篠 塚 俊 一 |
|                         | 看 護 部 長     | 伊 藤 宏 子 |
| 静 岡 県 赤 十 字 血 液 セ ン タ ー | 所 長         | 北 折 健次郎 |
|                         | 事 務 部 長     | 北 村 淳 也 |
|                         | 事 業 推 進 部 長 | 村 上 優 二 |
|                         | 沼 津 事 業 所 長 | 旗 持 俊 洋 |
|                         | 浜松事業所長（兼）   | 北 村 淳 也 |

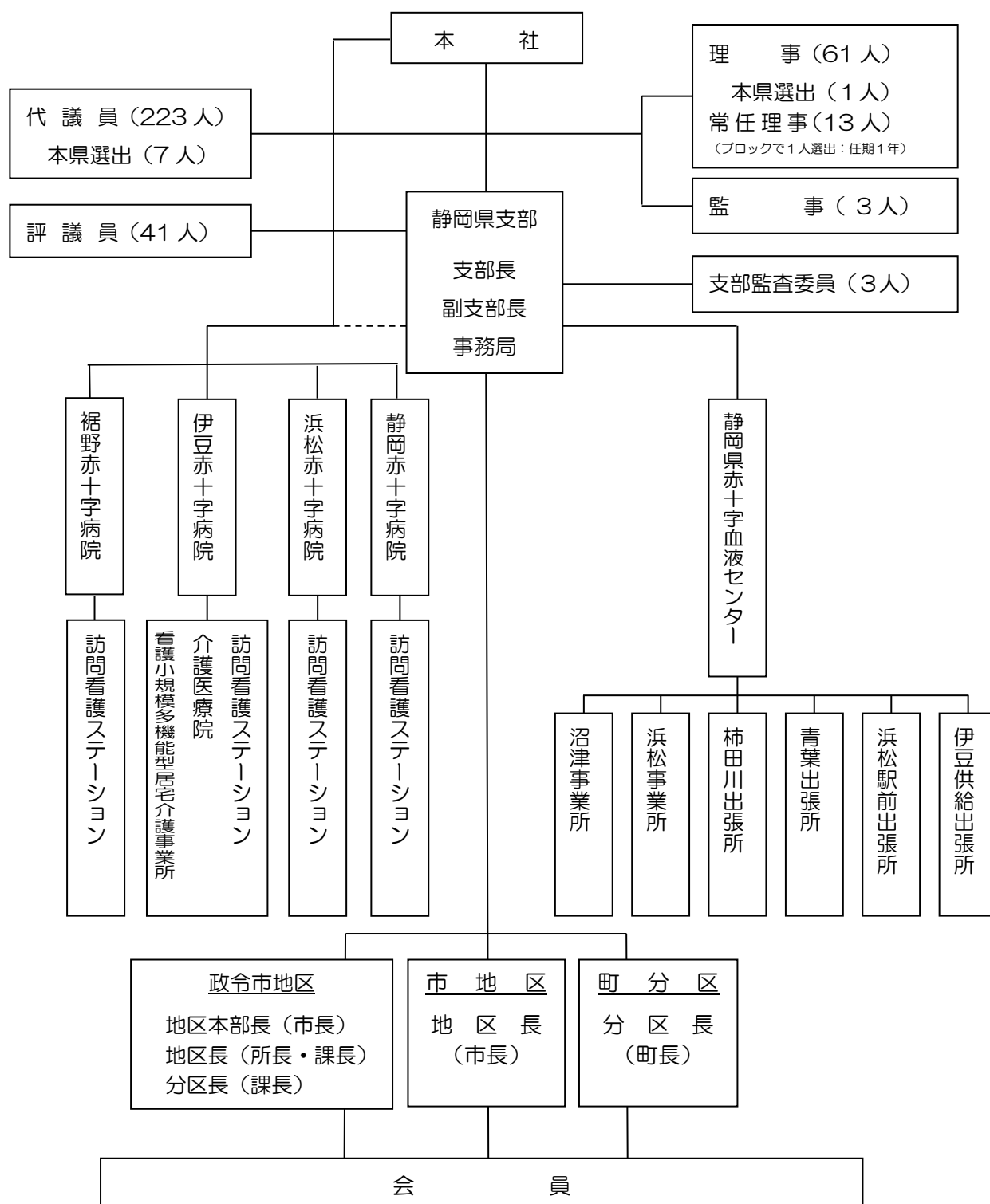
## 2 令和7年度主要行事一覧

| 月    | 日                                                                          | 行 事 名                                                                                                                                                                             | 開催場所                                                                   |
|------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 4 月  | 14 日<br>16 日<br>22 日～23 日<br>24 日<br>25 日<br>25 日                          | 地区区分赤十字運動打ち合わせ会<br>日本赤十字社静岡県支部協賛委員会<br>県内赤十字施設新規採用職員研修<br>静岡県地域赤十字奉仕団委員会、役員会<br>地区区分新任実務担当者研修会<br>地区区分担当者会議                                                                       | 静岡県支部<br>静岡県支部<br>Web<br>静岡県支部<br>静岡県支部<br>静岡県支部                       |
| 5 月  | 9 日<br>13 日<br>20 日<br>22 日<br>23 日<br>30 日                                | 静岡県青少年赤十字指導者協議会評議員会<br>全国赤十字大会<br>d E R U 展開研修<br>赤十字奉仕団静岡県支部委員会<br>日本赤十字社静岡県有功会総会<br>日本赤十字社静岡県支部監査委員監査                                                                           | 静岡県支部<br>東京都<br>静岡県支部・駿府城公園<br>静岡県支部<br>パルシェ<br>静岡県支部                  |
| 6 月  | 5 日<br>6 日<br>12 日<br>12 日<br>12 日<br>13 日<br>20 日<br>27 日                 | 静岡県青少年赤十字指導担当者研修会（中部）<br>静岡県青少年赤十字指導担当者研修会（西部）<br>静岡県青少年赤十字指導担当者研修会（東部）<br>日本赤十字社静岡県支部評議員会<br>日本赤十字社静岡県支部業務連絡会議<br>救護員基礎研修<br>第3ブロック青少年赤十字指導者協議会長及び支部<br>担当者研究会<br>日本赤十字社理事会・代議員会 | 静岡県支部<br>研修交流センター<br>三島市民文化会館<br>静岡県支部<br>静岡県支部<br>静岡県支部<br>Web<br>東京都 |
| 7 月  | 3 日<br>4 日<br>3 日～4 日<br>11 日<br>30 日                                      | 赤十字奉仕団ボランティア・リーダーシップ研修会（東部）<br>青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会<br>赤十字奉仕団中央委員会<br>赤十字奉仕団ボランティア・リーダーシップ研修会（西部）<br>静岡県献血推進大会                                                                    | コンベンション沼津<br>日本赤十字社本社<br>日本赤十字社本社<br>袋井南コミュニティセンター<br>グランシップ           |
| 8 月  | 19 日～20 日<br>23 日～25 日<br>26 日～27 日<br>27 日<br>30 日～31 日                   | 県内赤十字施設中堅職員研修<br>赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会<br>県内赤十字施設係長研修<br>静岡県総合防災訓練（本部運営訓練）<br>日赤災害医療コーディネート研修会                                                                                     | 静岡県支部<br>日本赤十字社本社<br>静岡県支部・Web<br>静岡県庁<br>日本赤十字社本社                     |
| 9 月  | 4 日～5 日<br>12 日<br>13 日～14 日<br>24 日～26 日<br>26 日～27 日                     | 第3ブロック奉仕団委員長・担当者会議<br>令和7年静岡県赤十字大会<br>第3ブロック赤十字救護班研修会<br>日本赤十字社静岡県有功会視察研修<br>日赤災害医療コーディネート研修会                                                                                     | 福井県支部<br>グランシップ<br>愛知県<br>大阪府<br>日本赤十字社本社                              |
| 10 月 | 3 日<br>4 日<br>11 日～12 日<br>12,13,17～19 日<br>16 日<br>22 日～23 日<br>25 日～29 日 | 紺綬・有功会会長協議会総会<br>第13回赤十字救急法競技会<br>第3ブロック支部合同災害救護訓練<br>幼児安全法指導員養成講習<br>静岡県地域赤十字奉仕団委員会<br>こころのケア指導者養成研修会<br>青少年赤十字国際交流事業（支部研修）                                                      | 佐賀県<br>グランシップ<br>福井県<br>静岡県支部<br>静岡県支部<br>日本赤十字社本社<br>静岡県支部 他          |
| 11 月 | 1 日～2 日<br>10 日<br>21 日                                                    | 日赤災害医療コーディネート研修会<br>日本赤十字豊田看護大学支部長推薦選考試験<br>日本赤十字社理事会                                                                                                                             | 日本赤十字社本社<br>静岡県支部<br>東京都                                               |
| 12 月 | 1 日～25 日                                                                   | NHK 海外たすけあいキャンペーン                                                                                                                                                                 | 県内各地                                                                   |
| 1 月  | 16 日<br>23 日<br>31 日                                                       | 地震対策オペレーション2026（大規模図上訓練）<br>研修推進連絡会<br>原子力防災訓練避難退域時検査場所運営訓練                                                                                                                       | 静岡県庁<br>静岡県支部<br>浜名湖 SA                                                |

|    |                 |                                                               |                                |
|----|-----------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 2月 | 4日<br>4日<br>13日 | 日本赤十字社静岡県支部評議員会<br>人事交流等推進委員会<br>災害時に役立つ！包装食袋炊き出しレシピ<br>コンテスト | 静岡県支部<br>静岡県支部<br>静岡県支部・産業経済会館 |
| 3月 | 19日             | 日本赤十字社理事会・代議員会                                                | 東京都                            |

### 3 日本赤十字社静岡県支部の組織及び沿革

#### (1) 組 織



## (2) 沿 革

明治22年10月 静岡市駿府町に日本赤十字社静岡委員部発足  
明治28年 1月 静岡委員部を静岡支部と改称  
昭和 8年 6月 日本赤十字社静岡支部病院＜静岡赤十字病院＞開設  
昭和 9年 7月 日本赤十字社静岡支部伊豆診療所＜伊豆赤十字病院＞開設  
昭和13年 3月 日本赤十字社静岡支部浜松診療所＜浜松赤十字病院＞開設  
昭和17年11月 日本赤十字社静岡支部中駿診療所＜中駿赤十字病院＞開設  
昭和18年 1月 静岡赤十字病院発足  
昭和20年 4月 浜松赤十字病院発足  
昭和21年 6月 日本赤十字社静岡支部引佐診療所＜引佐赤十字病院＞開設  
昭和26年 3月 引佐赤十字病院発足  
昭和26年 8月 伊豆赤十字病院発足  
昭和27年 7月 中駿赤十字病院発足  
昭和27年10月 静岡支部を静岡県支部と改称  
昭和28年 9月 静岡県支部静岡市追手町に移転  
昭和38年10月 浜松療護園の経営管理を県より受託＜浜松リハビリテーションセンター＞  
昭和39年10月 静岡県赤十字会館竣工  
昭和39年11月 静岡県赤十字血液銀行＜静岡県赤十字血液センター＞開設  
昭和39年12月 静岡県赤十字血液センター発足  
昭和40年 7月 静岡県赤十字血液センター浜松出張所＜浜松赤十字血液センター＞開設  
昭和45年 4月 静岡県赤十字血液センター沼津出張所＜沼津赤十字血液センター＞開設  
昭和45年 5月 浜松赤十字血液センター独立開設  
昭和57年 3月 静岡県赤十字血液センター 静岡市北安東に新築（移転）工事竣工  
昭和60年 2月 静岡赤十字病院本館増改築工事竣工  
昭和61年 4月 浜松療護園を浜松リハビリテーションセンターに改称  
昭和63年 3月 静岡県沼津赤十字血液センター新築工事竣工  
昭和63年 5月 浜松赤十字血液センター浜松駅出張所＜メイ・ワン献血ルーム＞開設  
平成 2年 4月 静岡県赤十字血液センター青葉出張所＜あおば献血ルーム＞開設  
平成 4年 5月 静岡赤十字病院救命救急センター開設  
平成 7年 3月 静岡赤十字看護専門学校 静岡市与一に新築移転  
平成 8年 3月 引佐赤十字病院新築・改装工事竣工  
平成 8年10月 静岡県沼津赤十字血液センター沼津駅前出張所＜献血ルームパレット＞開設  
平成 8年11月 静岡赤十字病院災害拠点病院＜地域災害医療センター＞に県より指定  
平成 9年 3月 伊豆赤十字病院新改築工事竣工  
平成 9年 6月 静岡赤十字病院別館増改築工事竣工  
平成 9年 7月 中駿赤十字病院を裾野赤十字病院に改称  
平成 9年12月 裾野赤十字病院増改築工事竣工  
平成10年 3月 日本赤十字社静岡県支部新社屋建築工事竣工

平成11年 1月 浜松赤十字血液センター耐震総改築工事竣工

平成12年 3月 浜松赤十字血液センター浜松駅前出張所〈献血ルームみゅうず〉移転開設

平成12年 4月 県内血液センターの一体化に伴い、浜松赤十字血液センターを静岡県浜松赤十字血液センターと改称

平成13年 3月 静岡県赤十字血液センター青葉出張所〈献血ルームあおば〉移転開設

平成14年 3月 浜松リハビリテーションセンター廃園

平成14年 4月 伊豆赤十字病院介護老人保健施設〈グリーンズ修善寺〉開設

平成15年 3月 静岡県沼津赤十字血液センター沼津駅前出張所〈献血ルームエイブル〉移転開設

平成16年 3月 静岡県赤十字血液センター事務棟増築改修工事竣工

平成17年 3月 静岡赤十字看護専門学校閉校

平成19年11月 浜松赤十字病院 浜松市浜北区小林に移転開院

平成24年 3月 血液事業のブロックセンター設置に伴い静岡県沼津赤十字血液センター及び静岡県浜松赤十字血液センターを廃止（平成24年4月より事業所として運営）

平成24年 7月 静岡県赤十字血液センター沼津事業所柿田川出張所〈献血ルーム・柿田川〉移転開設

平成24年11月 静岡赤十字病院3号館竣工

平成25年 7月 浜松赤十字病院災害拠点病院〈地域災害医療センター〉に県より指定

平成26年 1月 静岡赤十字病院1号館（北側部分）竣工

平成26年 4月 静岡県赤十字血液センター伊豆供給出張所開設

平成26年10月 浜松赤十字病院内支部災害救護倉庫竣工

平成27年11月 静岡赤十字病院1号館（南側部分）竣工

平成28年11月 静岡赤十字病院（全面）竣工

平成31年 4月 静岡赤十字病院〈しずおか日赤訪問看護ステーション〉開設

平成31年 4月 伊豆赤十字病院看護小規模多機能型居宅介護事業所〈レクロス小立野〉開設

令和元年 5月 静岡県赤十字血液センター 静岡市葵区竜南に新築（移転）工事竣工

令和3年 5月 伊豆赤十字病院介護老人保健施設〈グリーンズ修善寺〉を介護医療院へ転換

令和7年 3月 引佐赤十字病院閉院

## 4 日本赤十字社静岡県支部施設一覧

| 施設名                         | 所在地                                           | 電話番号         |
|-----------------------------|-----------------------------------------------|--------------|
| 日本赤十字社静岡県支部                 | 〒420-0853<br>静岡市葵区追手町 44-17                   | 054-252-8131 |
| 静岡赤十字病院                     | 〒420-0853<br>静岡市葵区追手町 8-2                     | 054-254-4311 |
| しずおか日赤訪問看護ステーション            | 〒420-0853<br>静岡市葵区追手町 8-2                     | 054-254-4500 |
| 浜松赤十字病院                     | 〒434-8533<br>浜松市浜名区小林 1088-1                  | 053-401-1111 |
| 日赤訪問看護ステーション                | 〒434-8533<br>浜松市浜名区小林 1088-1                  | 053-585-3676 |
| 伊豆赤十字病院                     | 〒410-2413<br>伊豆市小立野 100                       | 0558-72-2148 |
| 伊豆赤十字病院介護医療院                | 〒410-2413<br>伊豆市小立野 100-2                     | 0558-74-3300 |
| 訪問看護ステーション伊豆日赤              | 〒410-2413<br>伊豆市小立野 100-2                     | 0558-72-8337 |
| 看護小規模多機能型居宅介護事業所<br>レクロス小立野 | 〒410-2413<br>伊豆市小立野 100-2                     | 0558-72-0960 |
| 裾野赤十字病院                     | 〒410-1118<br>裾野市佐野 713                        | 055-992-0008 |
| 訪問看護ステーション すその日赤            | 〒410-1118<br>裾野市佐野 713                        | 055-993-5070 |
| 静岡県赤十字血液センター                | 〒420-0804<br>静岡市葵区竜南 1-26-19                  | 054-247-7141 |
| 青葉出張所<br>(献血ルーム・あおば)        | 〒420-0035<br>静岡市葵区七間町 8-20 毎日江崎ビル 6F          | 054-272-5858 |
| 静岡県赤十字血液センター沼津事業所           | 〒410-0302<br>沼津市東椎路春ノ木 567                    | 055-924-6611 |
| 柿田川出張所<br>(献血ルーム・柿田川)       | 〒411-0907<br>駿東郡清水町伏見 58-26                   | 055-991-7575 |
| 静岡県赤十字血液センター浜松事業所           | 〒435-0003<br>浜松市中央区中里町 1013                   | 053-422-1113 |
| 浜松駅前出張所<br>(献血ルーム・みゅうず)     | 〒430-0928<br>浜松市中央区板屋町 110-5<br>浜松第一生命日通ビル 1F | 053-413-2070 |
| 伊豆供給出張所                     | 〒410-2413<br>伊豆市小立野 100                       | 0558-73-2700 |

## 5 医療施設概況

| 病 院 名 |           | 静岡赤十字病院                                                                                                                                                                                                                                                    | 浜松赤十字病院                                                                                                                                                                                  | 伊豆赤十字病院                                       | 裾野赤十字病院                                       |
|-------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 開設年月日 |           | 昭和 8 年 6 月 11 日                                                                                                                                                                                                                                            | 昭和 13 年 3 月 17 日                                                                                                                                                                         | 昭和 9 年 7 月 1 日                                | 昭和 17 年 11 月 1 日                              |
| 病床数   | 許可<br>(床) | 411                                                                                                                                                                                                                                                        | 312                                                                                                                                                                                      | 84                                            | 104                                           |
|       | 稼働<br>(床) | 411                                                                                                                                                                                                                                                        | 279                                                                                                                                                                                      | 84                                            | 104                                           |
| 診 療 科 |           | 30 科                                                                                                                                                                                                                                                       | 23 科                                                                                                                                                                                     | 7 科                                           | 6 科                                           |
|       |           | 内科<br>血液内科<br>糖尿病・代謝内科<br>精神科<br>脳神経内科<br>リウマチ科<br>呼吸器内科<br>消化器内科<br>循環器内科<br>小児科<br>呼吸器外科<br>外科<br>乳腺外科<br>整形外科<br>形成外科<br>脳神経外科<br>心臓血管外科<br>皮膚科<br>泌尿器科<br>産婦人科<br>眼科<br>耳鼻咽喉科<br>頭頸部外科<br>消化器外科<br>病理診断科<br>放射線科<br>リハビリテーション科<br>麻酔科<br>救急科<br>歯科口腔外科 | 内科<br>呼吸器内科<br>消化器内科<br>循環器内科<br>小児科<br>外科<br>肛門外科<br>血管外科<br>乳腺外科<br>整形外科<br>脳神経外科<br>形成外科<br>皮膚科<br>泌尿器科<br>産婦人科<br>眼科<br>耳鼻咽喉科<br>麻酔科<br>放射線科<br>リハビリテーション科<br>歯科口腔外科<br>精神科<br>病理診断科 | 内科<br>精神科<br>小児科<br>外科<br>整形外科<br>泌尿器科<br>婦人科 | 内科<br>外科<br>整形外科<br>婦人科<br>放射線科<br>リハビリテーション科 |
| 特 色※  |           | 救命、工拠、臓、地<br>災、地援、訪                                                                                                                                                                                                                                        | 工拠、地災、<br>地援、訪、包                                                                                                                                                                         | 介医、訪、療、包、<br>看多機                              | 感、訪、包                                         |
| 救急告示日 |           | 昭和 41 年 3 月 31 日                                                                                                                                                                                                                                           | 昭和 41 年 10 月 1 日                                                                                                                                                                         | 昭和 41 年 11 月 25 日                             | 昭和 43 年 11 月 29 日                             |

※救命：救命救急センター 工拠：エイズ治療拠点病院 臓：臓器提供施設 地災：地域災害拠点病院

地援：地域医療支援病院 感：第2種感染症指定医療機関 介医：介護医療院 訪：訪問看護ステーション

療：療養病床 包：地域包括ケア病棟・病床 看多機：看護小規模多機能型居宅





この印刷物は、みなさまからいただいた資金で作っています。

